(明治三十九年八月一日第三種郵便物認可)

京城日報

十一日夕刊

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五十五錢　三ヶ月金壹圓六拾五錢　六ヶ月金三圓三拾錢(?)　▲郵券代用一割増

廣告料　▲五號活字一行金七拾錢　[illegible]

發行兼編輯人　奧田直毅　印刷人　小川三之介

發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社　電話　[illegible]

○領袖會合と中正會

茶話會を開き意見の交換

中正會にては十日午後本部に於て茶話會を開き三黨會合問題に關する意見の交換をなしたるが何れも冷笑と痛罵とを以てし特に其の覺書に於て外界一切の容喙を許さずと云へるを以て三黨が天下を私するものとして議論沸騰したるが

▲尾崎法相の語る所 を概括すれば世間にては中正會が三黨會合に參加を申込みたることを傳ふるも吾々は斯る(電文不明)會同には例へ誘はるゝとも應せざるべし有體に云へば顧省するの價値すら之れなきものと信ず何となれば彼等は遠からずして或は一事をも議する能はずして直に三人間の意見の衝突を來すべきは火を睹る如ければなり彼等は外界一切の容喙を許さずと稱するも恐らく外界の容喙を待たざる前に三人の衝突を見るべし要するに三黨會合の眞因は支那問題に對する意見の一致を來さしめんとする主旨なりしが如く而も之に付てはもとより意見の一致を見る能はざりしを以て結局覺書の如きは漠々たるものとなるに至りたるものなるべし云々(東京特電)

○公友倶樂部幹事會

三黨領袖會合問題に對する決議

公友倶樂部にては十日午後三黨領袖會合問題に關し幹事會を開きたるが同會合に公友派を除外したる點に於て不滿あるは全會員の一致せる處にて中には猛烈なる批評も現はれたるが同志會に對する關係上反對意見の發表を見合はすことに決し左の決議に止めたり(東京特電)

決議

頃日三黨首領が會合して從來の行懸りを捨て國防外交の兩問題を黨爭の具に供せざることを申合せたる趣なるが這は本倶樂部の宣言に合致したる處にして國家の爲慶賀に堪へず然れども三黨が從來の政策を捨て新政策を樹立するにありとせば之に對する吾人の賛否は自ら別問題に屬せざるを得ず

○共和黨決議の綱領

進歩黨も大同小異

市俄古來電に依れば決議せられたる共和黨の綱領を見るに

一、確乎たる外交政策の一貫
二、國際裁判所の設置
三、現政府が墨國カランザ政府を承認せしことの攻擊
四、非律賓島放棄反對
五、軍備擴張
六、保護關税主義

等其の主なるものにして進歩黨の綱領は未だ議決を經ざれども之と大同小異なり(紐育電報)

○共和黨候補者當選 第一回

共和黨大統領候補者第一回投票の結果左の如し

判事ヒユース氏(二五三票)上院議員ウヰークス氏(一〇五票)前國務卿ルート氏(一〇三票)上院評議員カミンス氏(八五票)上院議員バートン氏(七七票)前副大統領フエアバンクス氏(七四票)上院議員シアマン氏(六六票)前大統領ルーズヴエルト氏(六五票)指名當選に必要なる投票數は一人四百九十三票なり(紐育電報)

▲第二回投票結果 市俄古共和黨大統領候補者指名第二回投票の結果は判事ヒユース氏は七十五票ルーズヴエルト氏は十六票フエアバンクス氏は十四票の各増加を見たり大會は九日迄休會せり未だ既定の投票數を得たるものなし(紐育電報)

○伊軍墺軍戰線を突破す

羅馬來電に依れば伊太利軍は長さ九十四哩に亙る墺軍の戰線を突破せり(倫敦電報)

○墺軍の軍隊移動

墺軍は露國方面に援軍を送る爲伊太利國境より若干の軍隊を撤去せり(倫敦電報)

○箕浦遞相一行

九州巡視中の箕浦遞相一行は十一日門司着門司倶樂部の歡迎會に臨み門司郵便局を視察後凱旋座の演說會に出席し和布刈神社に參拜大分縣人會の歡迎會に出場の上午後七時十分下關發汽車にて歸京の途に就く(門司特電)

○輸移出入税額

五月中の輸移出入税額は輸移出税三萬三千七百八十六圓、輸移入税三十四萬一千八百二十七圓、噸税六千五百八十圓、其の他の諸收入七千八百三十三圓合計三十九萬二十六圓を算し又た一月以降の累計額は輸移出税二十萬六千六百二十九圓、輸移入税百六十二萬二千六百二十五圓噸税二萬五千七百七十五圓其他の諸收入四萬二百五十圓合計百八十九萬五千二百七十九圓にして之れを前年同期の總收入額百五十三萬六千八百八十五圓に比すれば三十五萬八千五百九十四圓の増加を見たり

○重石界沈衰

豫期されたる重石相場の下落はその後弱氣に弱氣を重ね一時の天井相場に比すれば目下その半額にも足らざる暴落を示し居れるが高田商會にては從來最上一噸二千二三百圓に購入しつゝありしも目下連日の如く下落一方にて猶ほ本月末を待たず一噸一千圓臺に暴落の虞れあればとて昨今地方の買鑛方を見合せ居れる次第なりと猶ほ十日アーレン商會の入電によれば目下紐育に於ける重石相場は一噸二千六百圓なるも內六百圓は京城紐育間の運賃諸掛費用に要するを以て目下京城に於ける最高相場は一噸二千圓を出でず猶ほこれとても數日ならずして次の暴落を報ずる前提とも見らるべく重石相場の下落は漸次昨年頃の平常相場に復しつゝありと

○林大使仁川行

伊國より歸朝の途次入京中なる大使林權助男は十一日午前八時五十分南大門驛發列車にて李王職事務官國分象太郎氏と共に仁川に赴き同日午後二時歸京したり

○立花師團長挨拶

十日午後歸京したる立花第十九師團長は十一日馬車を驅つて寺內總督、山縣政務總監、井口軍司令官を訪問し歸任の挨拶を爲せり

○子爵李根命氏逝去

前韓國議政大臣たりし子爵李根命氏は十一日午前四時半逝去せり行年七十七

○矢野税關長渡歐

朝鮮總督府税關長矢野久三郎氏は税關事務視察の爲九日附渡歐を命せられたり

○人見農務課長渡歐

總督府農務課長人見次郎氏は九日附を以て渡歐を命せられたり氏は七月下旬出發の筈なるも旅程は未だ確かならず

◎教習所長任命

三本鐵道局營業課長は五月廿七日附鐵道從事員教習所長を命せられたり

◎教育會鮮滿觀察

大阪市教育會の滿鮮見學旅行は左記の通り決定目下頻りに會員募集中なりと

▲五十人を一團(理事一名を團長として庶務會計員及び事務員を附隨せしむ)▲會費は一人九十圓▲申込期限は六月三十日▲申込者には醫師の診斷書を添ふるを要す

然して其の旅行の日程は

▲八月一日、梅田發▲二日、航海▲三日、釜山着、市中見學、大邱一泊▲四日、京城南大門着▲五日、京城見學▲六日、仁川見學▲七日、開城を經て平壤着▲八日安東縣へ▲九日奉天着▲十日、奉天見學▲十一日滯在▲十二日、旅順、旅順戰跡見學▲十三日、大連[illegible]▲十四日[illegible]▲十五日[illegible]▲十六日、滯在▲十七日、遼南丸乘船▲二十日、神戸着港

仁川

▲築港記念奉告祭 土木局仁川出張所にては十一日午前十時より日本公園大神宮に於て永井所長所員一同と共に築港起工五週年記念奉告祭を執行したるが久水府尹、櫻井税關長其他民間有志も參列す▲仁川の車數調べ 仁川港現在の各種車數を調査するに人力車五十七臺、荷車三百四十輛、牛車八十輛、荷馬車二十五臺、自轉車二百六十七輛なり

春川

▲小學校の遠足 春川公立尋常高等小學校は二學年以上は村井鈴木兩訓導の引率の下に三日春川近郊に遠足をなし學校林保護の爲めまつけ虫を兒童に捕らしめたるが成績頗る良好にして二升以上の獲物ありたりと▲苺會開催 江原道學務係及び小學普通學校敎員家族より成る苺會は四日の日曜を期し風光明媚なる昭陽江の清流に舟を浮べ網を投げ釣を垂れ潑剌たる鮮魚を漁り一日の清遊を試みたるが會するもの五十餘名にして却々盛會なりき▲昭陽江園遊會 赤澤憲兵隊長、藤谷江原道警務部長、杉本事務官の發起に係る昭陽江大園遊會は七日午後五時開催せり▲警務部長出張 藤谷江原道警務部長は憲兵下士二名巡査一名を隨へ六日出發約一箇月の豫定を以て管內巡視に出張したり來春中の憲兵司令部附宗本二等主計正は春川憲兵隊の經理檢査を終り三日華川方面へ向け出張せり

忠州

▲分隊長出張 忠州憲兵分隊長有馬大尉は分隊長會議列席の爲め三日清州に向つて出發八日歸任の筈▲通信課長 矢野通信課長は通信事務視察の爲め五日來忠七日離州に向つて出發したるが六日官民有志は末廣に歡迎宴を催し盛會なりき▲重石熱冷却 一時鰻上りに奔騰せし重石は近來價格暴落し外來者極めて少數にて稍冷却せるの感あるも猶ほ盜掘品一箇月二萬圓內外の取引行はれつゝあり▲橫領と故買 忠州郡邑內面忠州邑旅人宿小川豊吉は重石橫領罪にて懲役五箇月同小野富次は故買犯にて檢擧され懲役三箇月罰金三十圓に處せらる▲管理者推薦 忠州學校組合管理者宇野佐平氏辭任につき後任者選定中なりしが高村逵一氏推薦され不日就任の筈

鳥致院

▲輸出活躍 五月以來農繁期に入り一般輸入品の賣行き著しく減退せるも輸出は多少活躍し居れり▲麥作稲作 米の搬出せらるゝもの多く輸出側は一時多少の懸念を以て迎へられしも最近の所外經過よく平年作以上ならん又稲作は挿秧大に進み雨量潤澤に付好良なり

江景

▲市況沈衰 米價振はざるを以て米價の高下によりて左右せらるゝ當地の財界は五月以來沈衰し居れり▲植付と麥作 農家は目下植付準備に多忙を極めつゝあるが水量潤澤にして一般喜悅しつゝあり唯麥作は降雨少なからざりし爲め被害あり平年より五分減の見當なり

舒川

▲忠清南道舒川郡地主會 六月五日正午より舒川郡邑內普通學校に於て發會式を擧げ道廳より指宿技師講話の爲め小原道長官の告辭を携へて來會來賓として郡守、庶務主任、警察署長、農業技手其他庶務係一同及び學校長、小學校長、普通學校長、地主の集るもの無慮三百人餘、郡守の挨拶、指宿技師の長官告辭朗讀、郡守は之を鮮譯し終つて指宿技師は二時間餘に渉りて有益なる講話あり次に郡守は地主會の規約及び本年の實行事項を決議し閉會せり

光州

▲稲苗挿秧開始 本道の稲苗は南部潤澤なる爲め成育良好なるが早き所は既に挿秧に著手せる所もあり水田にも頗る水量は潤澤なり▲濟州沖漁獵準備 濟州島に於ける鯖沖取漁業傳習は七月一日より著手の筈にて目下漁網製造其他準備に著手しつゝありて十日頃正林水産技手は監督の爲め同地へ出張すべし▲公會堂の新築 公會堂建築に關しては既報の如くなるが愈々公會堂建築期成會なるものを組織して更に大活動に著手したるを以て其成功を見る近きに在るべしと豫想せらる▲講習會出席者 中學校敎員養成所出身の小學校訓導講習會は七月廿二日より京城に催さるゝ筈にて全南よりは吉田光州、木之元榮山浦、宮田、古賀、池邊木浦の五訓導出席を命せらる▲武術會盛大 當地武術會は先般會長交迭と共に內容を改善したる結果從來の居合術、柔道部の外に擊劍部をも併置し目下盛んに稽古を勵みつゝあり

大邱

▲尙州共同販賣開始 尙州蠶業組合にては尙州及び咸昌にて十日より共同販賣を開始する事となり片倉組、山十組其他諸方より繭買續々入込みつゝあり▲咸昌繭初手合 慶北咸昌にては六日生繭二十四貫の初手合を見たり最高五圓五十一錢七日には六十貫最高五圓六十三錢最低三圓三十錢にして今や多忙を極めつゝあり▲服部警務部長歸期 慶北江原、忠北道界國有林視察の途に上りし服部慶北警務部長は十二日歸邱の豫定▲榮州分遣所檢閱 服部慶北警務部長は八日より三日間榮州分遣所の檢閱を行ふ▲浮石寺院調査 慶北榮州郡浮石寺は高麗朝時代の建立にかゝる有名なる寺刹にして是が修繕に著手すべく先日來總督府技手出張中なりしが愈々具體的修繕に著手すべく七日總督府より岩井技師慶北道よりは吉田事務官木村道書記敷地に出張せり▲慶北物産品評會期決定 既報の如く慶北物産品評會開催の義過日の郡守會議に於て愈々開催する事に決定是を東西南北に區別し東區迎日、慶州、盈德、鬱島、西區尙州、金泉、善山、聞慶、醴泉、南區大邱、達城、慶山、淸道、永川、軍威、漆谷、星州、高靈、北區安東、義城、靑松、英陽、醴泉、榮州、奉化と區劃し開催日割は東區自十一月十六日至同廿日西區自同十日至十四日南區自同廿二日至廿六日北區自同四日至八日豫定なり

三道橫斷記

太白山上より　上田獻心

△黃池里は江原道とは云ひ乍ら道廳所在地なる春川まで五十一里餘[illegible]慶北[illegible]然ども地は慶北の如く肥沃ならず畑地に石塊の累々たるは止むを得ぬ[illegible]

△一行は服部警務部長、島田乃城憲兵分隊長[illegible]

[illegible]

釜山

▲西鄕少佐逝任 今回鎭海灣防備隊勤務を命せられたる海軍少佐西鄕從親氏は家族同伴にて去る八日朝上陸鳴戸支店にて暫時休憩の上任地に赴きたり▲五月末の人口 五月末に於ける釜山の人口は內地人二萬八千九百八十九名朝鮮人三萬二千五百九十一名支那人二百七名英國人十五名佛米希臘人各一名合計六萬一千八百五人にして前月末に比し內地人二百四名朝鮮人九百七十一名の增加也

鎭海

▲第三艦隊動靜 四月十四日より佐世保を經て鎭海灣に入り訓練作業に從事し今尙ほ滯泊中なる第三艦隊は來る二十三四日頃一旦拔錨佐世保に向ひ更に彈藥食糧を積載の後七月上旬再び鎭海に來り艦戰敎育に從事すべき豫定なるが同艦隊の滯泊期間は來る十月頃迄に及ぶべしとのこと故之が爲め鎭海市街は少なからず景氣を添ふべし▲第三戰隊入港 吉島海軍少將の率ゆる第三戰隊は軍艦音羽を旗艦として驅逐艦十一隻六日佐世保を發航七日午前鎭海軍港に到着する豫定なり滯在日數は未定なるも多分本月廿八九日頃に至るべく音羽艦長は大石海軍大佐にして驅逐艦司令は柴內豪吉、松下芳藏、増田幸一の三海軍中佐也▲將校會議所落成 本年三月中より圓山豫定敷地に建築中なりし將校會議所は愈々落成し昨今內部の裝飾に著手すべく準備中なり▲鮮魚相場 昨今當地にての鮮魚相場は十貫目値段は鯛八圓鯔六圓チヌ鯛四圓二十錢鱈四圓鰈(平目)四圓二十錢鰆四圓五十錢サゴシ四圓二十錢鯖四圓五十錢鯖三圓烏賊六圓グチ三圓五十錢小鯖三圓なり▲學校組合調定額 鎭海學校組合大正四年度調定額は六千八百八十三圓二十五錢なるが五月末は收入金額六千五百九十八圓五十八錢にして九分五厘強の成績なり▲盛漁期に入る 鎭海近海も漸く盛漁期に入りしと共に第三艦隊の入港碇泊するあり魚市場も逐次好況を呈し水揚高鯛を最多とし鰆之に次ぎ鱸は季節ものとて味好く五月中の水揚高四千三百五十圓と近年稀なる好況を呈せり

人事消息

▲林大使一行 十一日午後七時五十分出發
▲今井武人氏(大邱農工銀行支配人) 十一日朝入京旭城館へ
▲鳥羽直彦男 十一日午後水原より歸京
▲大塚鐵道局長官 十日夜水原より歸任
▲李根澔子 十日夜水原へ
▲京城高等普通學校職員生徒一行三十一名 十日夜馬山より歸校
▲篠田恐雄氏(土地調査局監査官) 十日夜入京東京旅館へ
▲中村竹藏氏(京城覆審法院檢事長) 十一日朝大邱へ
▲鍋島直映氏 入京中の所十一日前出發東京へ

普通門外瞬目　無佛　陳人

地自普通門外開。戰國歷々入眸來。追思二千年前事。一片雄心撥死灰。

寫眞撮影　寫眞銅版、亞鉛凸版　[illegible]

京城日報社　寫眞製版部

破産決定公告

京城府蓬萊町一丁目五十番地
倉庫營業者
朝鮮倉庫株式會社
右代表者取締役　藤野五一

一支拂停止ヲ大正五年二月二日午後一時トス
一破産主任官朝鮮總督府判事　田中芳春
一破産管財人京城府黃金町二丁目百四十八番地辯護士　赤尾虎吉
一破産者ニ對シ債務ヲ負フ者破産財團ニ屬スル物件ヲ占有スル者ハ破産者ニ債務ノ辨濟又ハ物件ノ交付ヲ爲スベカラス但其ノ支拂及交付ハ右破産管財人ニ爲スベシ
一債權者ノ權利屆出期間ハ大正五年九月二十日迄トス
一債權調査會ハ同年十月四日午前九時債權者集會ハ同年十一月八日午前九時當法院ニ於テ開ク

大正五年六月十日午前九時宣告

京城地方法院民事第二部

商業登記

一朝鮮皮革株式會社(變更)
道地番號設定ニ因リ本店ヲ朝鮮京畿道始興郡北面堂山里貳百貳拾番地ト變更ス
一大正五年五月貳拾七日監査役草刈隆一、岩楠林造、原脩次郎重任ス
右大正五年六月拾日登記
一支配人解任(主人朝鮮皮革株式會社)大正五年五月參拾日支配人豊田正八ヲ解任ス
一支配人選任
一支配人ノ氏名住所朝鮮京畿道始興郡北面堂山里貳百貳拾番地賀田金三郎、主人ノ氏名住所朝鮮京畿道始興郡北面堂山里貳百貳拾番地朝鮮皮革株式會社、支配人ヲ置キタル場所朝鮮京畿道始興郡北面堂山里貳百貳拾番地
右大正五年六月拾日登記

京城地方法院永登浦出張所

購買入札

一大豆八百九十五石　外四點
右買入ス詳細ハ大正五年六月十二日以後ノ本府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

第五回決算報告書　貸借對照表
大正四年五月壹日ヨリ大正五年四月參拾日迄

借方	
株金	參〇〇、〇〇〇、〇〇〇
借入金	八〇、八四貳、〇八〇
農工銀行金	貳、九九九、壹貳〇
假請金	貳四參、九〇〇
未拂金	八八貳、〇七〇
店員預り積立金	五五、貳五〇
當期益金	參、壹五九、七〇壹
合計	參八八、貳壹貳、壹貳壹

貸方	
鑛區	壹壹〇、〇〇〇、〇〇〇
地所	參、參參壹、壹四〇
建物	五、壹四六、參四八
什器	貳、八四壹、六〇〇
假渡金	壹、壹九八、四四〇
貯藏品	參〇、壹五〇
牛車	貳〇、〇〇〇
第四坑費	貳、〇五五、七五貳
試錐費	六、六七貳、八七〇
土木費	參四〇、壹八〇
諸機械	壹、四貳參、九六〇
平鑛區	壹、參參四、八六〇
第貳風坑費	貳五九、〇貳〇
興業費	壹貳、〇六九、八貳九
掛代金	五五五、六八〇
鐵道部	貳參九、五貳貳、八四七
銀行有高	壹七〇、四四五
現金在高	壹、貳參九、〇〇〇
合計	參八八、貳壹貳、壹貳壹

右之通リニ候也
東京市京橋區桶町六番地
咸興炭鑛株式會社

(上)殉死せる袁氏正夫人(下)毒を仰ぎたる第三夫人(朝鮮人)

●慌てゝ心配する要はない

―今後の支那の形勢は―

馮國璋か段祺瑞か……氣迷ひの姿……二種の觀察……八天下……いざこざなればわけはない　東都　某將軍談

社長の電命を齎らして城北外苦に某將軍を訪うて支那の時局に對する觀察を叩く。將軍は多年北清にあつて斯界屈指の支那通也、語つて曰く

袁世凱が死んだ、サア此後の時局は何うなるだらうと左樣短兵急に攻めて來ても、誰にも豫想がつくものか先づ豫想らしいものを造り上げることの出來る時期は、今各地に據つて中原を睨んでゐる連中が、何とか

▽動き出す時　だ、此連中も今のところは皆氣迷ひの姿で何うしていゝのか一寸方針が立つて居ないだらうと思ふ。兎も角も王が倒れたので金や銀は迷つてゐて動けない。この駒の動き出す迄は豫想は出來ない。併し、強いて目下の局面によつて將來を考ふればそこに二種の觀察が出來ようと思ふ。則ち第一は從來南方の獨立各省の首領は總て

▽袁を標的こ　して群がり立つたのであるから袁が亡くなれば戰爭の目的は無くなつたのだ。則ち排袁感情の結果起きた革命は一朝にして其旗幟が失はれたのだ。革命軍にとつては袁の死は恰も火事の消ねたやうな感じがするだらう。そこで黎元洪を守り立てゝ其下に國會を作り一年前の支那の狀態に還るだらうといふのである。第二は果して其れが可能なりやといふのである。目下の支那は

▽團栗の背比　べだ、滿洲に張作霖あり、徐州に張勳あり、北京に段祺瑞あり、南京に馮國璋あり、上海に孫文黃興あり、廣東に岑春煊あり、雲南に蔡鍔あり、是等は悉く現代の支那に於て兎も角も第一流の人物である。そして自ら暴力を以ても仕事をするといふ輩である。是等が交讓妥協して黎元洪の下に內閣を作るなどとは思ひも寄らぬ。しかし兎に角これ丈の中で黎元洪の片腕となつて

▽時局の纏り　をつけて行き得るのは段祺瑞か馮國璋かであるが扨て是れにしても自力に於てそれを爲し遂げ得るか何うか判らぬ。強ゐて援けて行らせれば馮國璋であらう馮は年も老け經驗もある片寄らない段祺瑞はすねる癖があるから統率の器としては駄目である。岑春煊は袁の先輩であるけれど短慮で正直だ。孫文及び黃興は南洋の支那人には人望が有るけれ共、支那の本國では彼等の第一革命の時の手際に愛想をつかしてゐるからとても、奈翁がコルシカから踊つたやうには行かない。蔡鍔などは多少の新知識こそ有るけれど若過ぎる。扨て馮國璋と段祺瑞とが

▽妥協し得る　か。兎も角段は今北京にあつて重大な地位を占めてゐる馮が黎の下に內閣を造るにしても段と折合はなければ仕事が出來ない。要するに是等の各勢力の間には完全な統一が暫く行はれないで有耶無耶の間に時日が經過することゝと思ふ。其時には北京の聯合は地方には聞かなくなる、全く行はれなくなる、結局は強大なる隣國の善意ある援助に賴る他仕方があるまいと思ふ。支那の治安を維持するには、重要なる都市に

▽五六箇師團　の兵を分駐させれば樂に出來る。わけはない。先さう慌てゝ心配することは要らん支那のことは時間が解決して吳れるだらう(東京支局Ｋ生)

●手錠破りの怪賊

懲役十年に處せらる

慶南東萊郡長安面佐川里生れの怪賊金二龍(三)は慶南全道に於て數年間に亙り強竊盜を働きし數頗る夥だしく蔚山、東萊、梁山を中心として荒し廻はり居る中本年十二月竊盜犯として東萊警察署にて逮捕され輕き處罰を受けて出獄後翌三月蔚山郡目島市場にて白晝竊盜を爲し南倉駐在所の手によりて逮捕されしも三月十三日夜放尿すると稱し手錠の儘逃走し次で手錠を捻ぢ切り全く所在を晦ませしも竟に惡運盡き長生浦方面に潜伏せるを探知され同地揚竹里擢得辰なる者の宅にて非常なる格鬪の末捕縛され釜山に護送の上此の多數の犯罪に關し久しく罪狀取調べ中なりしが豫審終結して八日合議裁判として檢事判事裁判長の許に判決あり強盜犯として懲役十年竊盜犯として同六箇月の言渡を受けたり

●命を取る荒療治

咸南定平郡府內面仁興里骨聖洙の長男骨湛衡(三)は豫て睾丸腫れ上り且つ脫腸する病氣に罹り家人が手當を加へしも一向に埒明かざるより其治療法を熟知し居れりと稱する咸興郡朱地面地境里許恒青(七十)を自宅に招き五月十八日其手術を受けしめたるに許恒青は鋭利なる小刀を以て局部を切解し荒療治を施したる爲め該幼兒は間もなく絕命するに至りたるを此程某筋に於て探知し取押へんとしたるに許は何れにか姿を晦ましたり

●見込まれたが因果

咸南洪原郡東退潮面長郭春植(四)は同郡市青面羅川里李徹明の妻韓吉粉(三)の美貌に懸想し面長の職權を振り廻し本夫の眼を偸みて遂に同女を口說き落したることを本夫が探知して告訴したるより兩名は此程洪原警察署に引致されたり

●實兒を斬殺す

平北定州郡玉泉面上端里白時憲(三)は昨年八月より病氣に罹り加療中偶々同郡臨海面元端里金相胐に嫁し居れる實妹の白氏(三)が立歸りて兒の看病に餘念なかりしが五月二十八日夜如何なる動機か白氏は俄かに起き上り菜切庖丁を以て就寢中の實兒に斬り付け卽死せしめたるより定州憲兵分隊の手に逮捕されたり

●東京大相撲の巡業

先き決定す

東西合同の大相撲は八日より横濱常設館にて四日間興行の上茲に分離して出羽の海の一行は朝鮮に向ふ西の海大錦對馬洋栃木山等の一行は朝鮮に乘り込み十七日より釜山に於て三日間其れより京城に乘込む▲友綱の率ゐる太刀山伊勢ノ濱の一行は[illegible]一行と合併して十七日より越後高田新潟[illegible]の三箇所を打ち太刀山組は小千谷柏崎を打つて[illegible]組は高分越後路を巡業して庄內地方に出で山形仙臺盛岡栃木上州路を巡業すと▲雷の率ゐる朝潮浦の濱一行は北海道に巡業[illegible]し栃木地方まで行き引返して常陸より[illegible]入り海道を水戶地方に出づる等なり▲[illegible]の大泉[illegible]錦一行は既に北海道[illegible]れは[illegible]打揚げ後[illegible]の高一[illegible]小金石黑嶽一行は横濱打揚げ[illegible]出づる由[illegible]技會は七日午後三時より[illegible]向院の[illegible]力士を招き太刀山以下十九人[illegible]を與へたり(東京)

●小達磨引退相撲

大阪相撲協會力士より京城券番に入り箱丁の改名として知られたる小達磨は京城素人角力の中位を占め居りしが今回角力道引退の披露として十一、十二の兩日京城各料理店の後援にて壽館に素人角力を興行する事となれり

●電車で負傷

十日午後一時五十分頃京城電氣會社の六十八號車が南大門通一丁目朝鮮商業銀行前を進行中軌道を通行せし貫鐵洞安元植妻劉姓女(五)は車體に觸れて救助網に倒れ込みたるも右腕に擦過傷を負ひたるのみにて直ちに歸宅したり

●奈翁百日天下

東洋二十箇年の映寫權を有つ

▣東洋二十箇年の映寫權を有し撮影費二十五萬圓と一年二箇月の日子を費やし俳優一萬五千人を使つたといふ「奈翁百日天下」は最初「奈翁再度の旗揚」といふのであつたが獨逸物寫眞が此の名稱を用ひて各地を持ち廻つたのでそれとの混淆を憚つて原名そのまゝの百日天下として帝國に現はれたのだ、詰りその日本に一本しか無いといふのを珍らしく思つて出掛けて見る

▣奈翁がエルバの孤島を抜け出して巴里の都に入つた第一幕[illegible]

▣[illegible]は最も鮮明なグリーン著色の場面の變化も可なり多く[illegible]の演伎にも又は辯士の櫻田南城の說明にも名を一代の史に繫め身は全歐を統べ帝王製作者として全世界に於ける最高主權者として縱橫の才を振つた一代の英傑不世出の大偉人の面影が隨所に現はれて英雄崇拜に燃ゆる吾等の若き心を躍らすものが多かつたが就中彼が將ゼラールの手を握れむ慈愛、ゼラールに温言を以て責むる所、更に職爭一番サムブル驛橋の破壞を命ずる所、ウヲータルローに於ける苦戰等史上に輝く大奈翁の兵略、外交、人心收攬法等彼の行くところ隨所に發露される性格が表示されてゐるのを見た

▣しかし又ウヲータルローに敗戰し孤影悄然[illegible]セントヘレナ[illegible]なき英傑が見えて神秘的、[illegible]れてゐた、時に將に臨終に際し現はれた幻影と共に漕々乎たるウヲータルローの[illegible]から長劍を按じ[illegible]の庇を上げて[illegible]に怒然として現はれた幼帝の[illegible]會心の笑を洩らす所がよかつた

▣次ぎのゴールドクロッスは寫眞も鮮明、筋も吾々東洋人に容易に會得する事が出來るやうになつて居る辯士藤野睡虎の說明と相俟つて近來になく面白く見た(晃)

▢何故殉死したろか

悲しき袁家の運命

―ソウルプレス記者　布施知足氏談―

袁世凱氏の正夫人が殉死したさうであるが長子の克定氏が危篤だと云ふ噂のある所へ重ね〴〵の椿事で同情に堪へない夫人は確か于氏で袁氏の許へ嫁いだのは

◇今から四十年前◇

袁氏が十八で夫人が二十歳の時であつた所謂姉女房で近來は殊に老けて見えたので袁氏とは七八も齡が差ふやうに見えたと云ふ事である格別賢夫人の噂もなかつたがしかし袁氏の

◇內助者こしては◇

立派な効績のあつたものらしく袁氏があれだけ政敵のあるにも拘はらず品行の上からは一向世人から指彈されるやうな事の無かつたのは一つは袁氏が政事以外道樂と云ふものが無く賭博は嫌ひ妾は有つても格別好色と云ふ程でもなかつたと云ふ其無事な性質にも基づいたらうが一つは又夫人の舵の取方がうまくてあれだけの大家族に喧嘩を起させなかつたと云ふ

◇其手腕にも因る◇

のであらう、一體袁氏に關してこれまで世間に傳はつてゐる噂はまるで小說のやうな假作話ばかりで妾の數が各國の美人合せて五十七人あると云つてみたり財產が一億を超ゐると云つてみたり

◇傾こ埒も無い事◇

ばかりなのには閉口する。他人の妾の數を數へるのも篦棒な話だが實は四人あると云ふのが眞實らしい其中で二番目正夫人から數へて三番目の第三夫人と云ふのが確か先達て京城日報に出てゐた朝鮮美人で今度の電報に有る

◇自殺しかけたが◇

止められて果さなかつたと云ふのは多分其の婦人であらう。正夫人が何故自殺をしたかと云へばそれは單に貞烈の意味で良人の後を追つたと云ふよりは寧ろ事情がそれ程自分に不利なものが有つた爲であらうと思はれる、袁氏の薨去に伴ふ

◇袁家の殁落が◇

歴々と眼に見ゑて迫つてきたか乃至兼てから要の種であつた家庭の內訌が愈々芽を吹き出したか、恐らく二つが一時に其黑い陰影を夫人の眼前に投げたのではあるまいか(つゞく)

▢京城に何が欲しいか

▢醒めつゝある朝鮮人に欲しいのは

子爵　趙重應氏談

時勢の進展につれて朝鮮人はその最も忌むべき惰性から離れて來てゐる、卽ち何かしようといふ觀念は常に彼等の頭を支配してゐる、併かし今日では殘念ながら彼等が取付くべき仕事がない、殊にそれが下級民に至つてはさうである、そこで私は公會堂を造るのもよい、圖書館もいゝが

◇貧民救濟◇

の一方法として內地に於ける徒弟學校式の職業學校—工業傳習所よりも程度の低い大工、左官、石工の如き職工を養成するを目的とするもの—又は女でも子供でも這入る事の出來る手工學校の如きものが欲しいのである、斯して心ならずも無爲徒食、赤貧に泣いてゐる窮民を救ふと同時に彼等をして

◇生產的人民◇

にして見たいのである、次に之れは京城に在つては三百年前から屢々計畫されて出來なかつた事ではあるが漢江の上流から下流梅花津に達する疏水工事を起したい、之れが出來れば[illegible]や肥車が不快な感じを市民全般に與へて市街を横行する事もなくなるであらうし市の中央に

◇漫々たる碧水◇

を湛へた川が見れるといふ事は非常にいゝ事であらうと思ふ。併し之れには一千萬圓からの經費を要すると言へば或は空想に過ぎないかも知れない

▢現在では滿足出來ぬ劇場

京城商業會議所評議員　釘本藤次郎氏談

私は投票に現はれたものゝ內で京城に必要のものは大分見受けれど劇場なども市民の希望としては可なり力強いものではなからうかと思はれる、京城に於いて

▽劇場こ言へば△

往年一流の人がこれに關して大分手を燒いてゐる、建築不備による營業停止、本町、歌舞伎兩座の燒失等がそれだつた、昨年も劇場建設の機運が作り出されて大分物になりかけたけれども或る事情から立消になつてしまつたこんなわけで劇場に投資するといふ事は餘程危險視されて寄らないやうにしてゐる、併しながら劇場の必要は市民の

▽各階級を通じ△

て感じてゐる、都市の體面上から言つても現在の劇場では到底滿足が出來ない、然らば如何にしたら劇場の建設が出來るかといふに之れは至極簡單なのである、此處に一人の中心人物があつてその人が或る經驗の上に立つて本氣になりさへすれば容易に出來る又有力なる人が十五人も發起人となれば出來る、今日の京城としては三萬圓乃至

▽五萬圓の資本△

金で定員一千二三百人乃至一千五六百人の劇場は左して贅澤ではない博多に於ける九州劇場、壽座位のものは是非無くてはならぬ、劇場には左程熱心を拂はぬ人も相當の成算があつて之れを主唱する人があれば創立は案外容易であるだらうと思ふ

讀者の聲

私立中學の外に中等職業學校も欲しいものだ(中級民)▲在留民の精神的統一の爲めには朝鮮神社が近く建設されるといふが同時に朝鮮に關係ありし偉人の銅像が欲しくはないか(南山生)▲博物館と別に美術館を欲しいと思ふ同志なきや(一青年)

▢帝劇二大寫眞　帝劇上場連日滿員の盛況を呈したる伊太利ベラ會社が一ケ年二ケ月の日數と廿五萬圓の費用を投じ一萬五千の俳優を登場せしめたる大活動寫眞

▢那翁百日天下　東洋廿ケ年權利附

▢黄金の十字架　通俗教育會幹部連より優秀教訓劇と賞讚せられたる

昨夏隨無情の說明に滿都の好評を博したる(正七時開演)

自六月十日至同十三日四日間　藤野睡虎出演　壽座

御禮

開館式當日折角御來駕被下候にも不拘取込の際こて萬事不行屆勝ちに有之誠に相濟み不申茲に御禮旁々御詫び申上候

黄金館

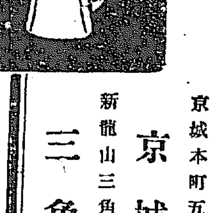
天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店　Mカシー商會朝鮮代理店　早川增太郎

當場封切り上場

◎探偵大活劇　アルタス(名馬)(ファントマス)以上　全十卷

◎新派大悲劇　不如歸　全四卷　兒島旭洲琵琶彈奏

初日午後六時半札止滿場立錐の餘地なし



▢ビール界

獨得の風味ある

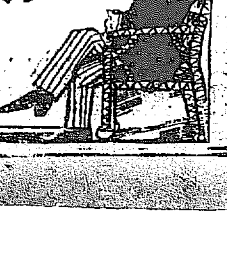
サクラ生ビール

不相變御愛飲願上候

京城朝鮮銀行前　サクラバー

京城本町五丁目　京城花壇

新龍山三角地　三角バー



●邦人奇禍に遭ふ　[illegible]る一彈は三郎の左股を貫通し出血甚だしきに依り同行の佐々木は直ち[illegible]人に引[illegible]したり(釜山)

●老婆の變死　七日午後二時[illegible]當を施したれども甲斐なく遂に絕命せり死者は[illegible]を遂げたるものなるべしと[illegible]頭部に打撲傷を負ひしのみ生命は[illegible]

[illegible]三日早曉迄砲聲斷續して激戰を交へ[illegible]千前七時に[illegible]代田[illegible]

(二等)岡村百彦、小川明[illegible]、安太郎、大島正雄、小園安太郎、畑山すゞ[illegible]

天氣　晴一時曇　六月十二日[illegible]

……張中去る二十七日午前四時頃革命戰勃發したれば高密に向ひ避難の途中官職員と覺しき方面より射撃した……頭遂に死亡せしを以て廿八日午後三時頃高密著の上憲兵分隊に届出で守備隊軍醫檢證を爲し屍體は前記聯居兵分隊より憲兵が駈けつけ應急の手

……人の老婆……頭部の傷より鮮血流れ出で目も當てられず斯くする中に憲……金女を背負ひ鐵路を横切る刹那汽車が進行し來りしも老婆は聾にして注意の汽笛も耳に入らず斯く無慘の死

……行動を開始したる旅順第九艦隊の……消艦隊運習は二日午前三時半假設敵千代田艦と艦隊との衝突となり……

◎連絡船 入港高麗丸二等客(一等四、二等……)

十日午後釜山入港櫻丸一等客……(二等)……本やし、宮田一、管乙三郎、保口勲、岡辰吉……地貝元、西山字之助(三等五十四名)

◎白國領事館内の薔薇の集り

□寡婦孤兒救濟會□
□土曜日午後より□

□府廳の裏手、舊名古屋城の前から白耳義領事館に入ると滿地眼もさむる許りの紅白の薔薇と青い樹立が美しうございました

□青いアカシヤの生垣に添うて石のライオンが蹲居つた石段を上りますと大きな石柱や窓口には涼し相な蔦の葉が茂つて居ました

□見馴れぬ訪問客に驚いて玄關で吠ゆる愛犬を制しながら清楚なる夏服を著けたブリボジヤ夫人は玄關に出迎へられました

□過同十七日の土曜日に白國寡婦孤兒救濟のお庭の會が催ふされるに就いて伺ひますと夫人はこれまで京城の日本人連が表された熱い眞心を感謝して居られました

□「就中石塚長官夫人、國分長官夫人、持地局長夫人方の御親切と關屋、鈴木、金谷、佐々木、久水各夫人の御盡力を悦むで居られました

□妾は二三日前内地から歸りましたが庭の薔薇は御覧の通り咲きそろひました、内地は連日の雨でございますが京城もどうぞ土曜日には降りませんやうに……

□こんどの會には李王職の音樂隊も來て頂きます、日本の奥樣も各國領事館の夫人令孃も手傳して下さい升

◎夏の日を琴調べ

……演奏會の盛況……

△京城ホテルの箏曲大會は窓の簾に風をよく大廣間で日曜の午前十一時から始まりました

△金屏風を後にした壇上には始めお雛さんのやうな可愛らしい少女や宮富といふ少年も彈奏しましたが折から庭に香る薔薇の花の匂ひもうれしく思はれた

▲お客樣には丸髷の奥樣から島田やお下げの令孃など座つた人も椅子に凭つた人も絡のやうで午後一時頃からは滿堂花のやうなお客樣で充されました

清津から僅か百廿五哩の浦鹽は

□昨今前代未聞の貨物の大混雜□

◇歐洲戰亂の勃發以來朝鮮の清津港からわずか百二十五哩の浦鹽港では前代未聞の大貨物が動いて居ります御承知の通り露西亞といふ國は洵に面積の廣い尨大な國でありますけれども海岸線は極めて短かいところでありますからバルチック灣があの通りとなりました表口にオデッサ港(黑海沿岸)が土耳其の爲めに塞がれた今日大露西亞唯一の港は浦鹽港のみとなりました

◇隨つて道回の大戰爭の爲めに此の港から輸送される貨物の數量は實に莫大な嵩に上り埠頭一帶は貨物の山を築いて居ります

◇先達ての浦鹽の大火も實に是等の貨物に火を失したのですが何分夥多の荷物なので船から揚陸したものもそのまゝ埠頭に停滯しつゝある始末、その混雜は一通りでありません

◇浦鹽邊の噂では此の大停滯は汽車の輸送力が不足なのは申すまでも無いが假令何程の車輌があつても昨今は本國の收穫期の爲めに獨逸俘虜を送るから足りないのであるとの事ですがこれは眞當とは思へませぬ

◇原因は只陸揚げの貨物が多過ぎるのであつてチョイト埠頭を眺めて見ましても農具、棉花、亞鉛板、銅、鐵道材料等で山を爲して居ります

◇また海の方はと見渡すと現在廿餘隻の大汽船が埠頭の岸壁に吸付けられたまゝ後から後からと投錨する船に身動きもならず其の上カムチヤツカ漁船が何百隻となく出入して居ります

◇過般も三井物産の傭船淺間丸が港を道ひ出すのに四十日掛つたといふのは有髭の浦鹽でも最高記録だと噂されて居ります

學校新聞

◎十一日より開業　南大門學校茶店は愈々十日を以て修繕を終り十一日より開業しました

…日本人と歐洲人…

○身長の平均
日本人(男五尺一寸八分 女四尺八寸四分)
歐洲人(男五尺五寸八分 女五尺三寸一分)

○體重の平均
日本人(男十三貫 女十二貫)
歐洲人(男十七貫二百 女十五貫六百)

日本人と歐洲人との體格はこんなに差がありますが、何故こんなに違ふのでせう、それには種々理由がありませうが運動が其一つの原因でせう、みなさんもここに注意したならば今よりもずつとすぐれた體格をつくることは請合です——(櫻井小學校)——

◎柔劍術稽古始式　京城中學生は第八分隊武道場で柔劍術の稽古をする爲め去る十日午後盛大なる稽古始式を擧げました

◎井口牧師歸京　長谷川町日本基督敎會井口牧師は十三日歐洲から歸京されます

「けふはいゝよ!」

めちや吉

ｂ先生の大嫌ひな六月が來た然しも六月が嫌ひと云ふのぢやないが、呉服屋の夏もの賣出しが毎年六月に有るから六月が嫌ひなんだ果して六月の一日から、夏ものゝうり出しと云ふ大きな文字が、先生の眼に映じて度々心臓を痛めしめて居つた。ところがこの四五日と云ふもの不斷のサイノロ先生に似合はず細君を睨め通して、うり出しのうの字も言はせなかつたが、今日と云ふ今日、うり出しが強制的に押寄せて來たので先生大狼狽、内部の起らない間にと大喝一聲『けふはいゝよ!』

婦人界消息

△豊田四郎氏母堂(土地調査局課長)八十餘歳の高齢にて前週郷里で逝くなられました

□入梅　十一日から入梅でありますが朝鮮の氣節も山に樹木が殖えたせいか雨の具合なども餘程内地に似て來ました 干枝は己卯で舊暦が五月十一日に當ります

番茶のあと

▲毎度キッチナー將軍を引合ひに出しますが去る四十二年の秋深き十月將軍は奉天から安東縣へ出る途中安奉線の草河口驛に泊つたことがありました▲當時は例の輕便鐵道時代であの高い山々に圍まれた草河口の夜は鐵のやうな將軍の肌にもひし〳〵と迫つてきました▲當時滿鐵で急造のバラックを建てゝ歡待しました事は餘程元帥の頭に印象深く殘つたものと見えて『草河口の名は永久に忘れざるべし』と云はれました▲先年コンノート殿下も滿洲御通過の砌此のおはなしを遊ばした相ですが春風秋雨茲に八年あはれその家も取壞され元帥も亦過古の人となられました

□かしわのさみだれ和へ　鷄肉を出來るだけ細くそぎ湯の煮立ちたる中に入れてざつと煮直ちに冷水にあげ酢の中に鹽少し加へたるもの、中につけおく胡瓜の皮をむき細き繊に切り鹽なして酢につける別に味醂と酢と醬油にて三杯酢を作り右の二品を和へ皿に盛りめにぞを其の上にぱらとかけて出す

△諏訪よね子氏(善隣商業校長夫人)先日來より御病氣にて自宅療養中

△菊池ちか子刀自(仁川商業會議所會頭菊池長四郎氏母堂)數日前逝去仁川花町本願寺に於て葬儀執行

神社と教會とお寺

△本能寺布教所(霞水洞)十二日午後二時より夜は八時より常例通り　加藤講師の說敎あり

—△會いろ〳〵▽—

○愛婦協議會　愛國婦人會の役員は地久節のお祝ひに會員一同の家族會を催ふします爲め來る十三日午後一時半から南山の同會本部所に於て役員會を開きます

○婦人聖書研究會　十四日午前十時より米倉町渡邊高等法院長の御宅で催ふされます

○愛婦家族會　愛國婦人會にては來る二十八日の地久節、佳節なれば會員一同の親密なる家族的な催ふさる筈

○學校職員謡曲會　十八日西大門教育倶樂部にて府内各學校先生方の謡曲大會が催されます

演藝案内

黄金館
天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店　黄金町四丁目　電話二六三七

六月十日より
新築落成開館記念特別大寫眞
◎實寫フローレンス◎滑稽ザ▲君の報酬
◎新派寫劇白ハンカチーフ　最長尺
▲佛國ゴーモン會社特別作品
◎探偵大活劇「アルタス」全十巻
ホフ弁ルムは五月二十八日輸入當館新築落成開館の爲め特に封切り上場す内容は敢て說明の要なし只ファントマス以上の逸品なる事を斷言す
▲德富蘆花先生大傑作
◎新派大悲劇「不如歸」全四巻
内容は世人の克く知らるゝ處只斯界の闘將井上正夫一派の大川輪川派にして我シチマ界のオーソリーチたる我天活會社の苦心特別大撮影に係るものゝ醉内容滿の瑞當館專屬「兒島旭洲」彈奏なる以て御満足に供し候
▲和洋音樂界の名手竹岡和樂氏を招聘し獨特の妙技を御聽覽に供し盡く御觀客樣の御批評を仰ぎ申さすべく候
▲期待されたる新築落成の黄金館——愈々六月十日を以て開館式擧行午後六時より一般觀覽に供し當日正午より開館式擧行午後六時より一般御觀覽に供し當日より御來館を賜り御引立の程偏に奉願上候
御注意(Mカシ)天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店
電話一八五二(階上)電話二六三七(階下)　黄金館

浪花館
明治町　電話二六〇番
今晩の讀物
△二人探偵(燕之助)△湖田主水(如月)△櫻川五郎藏(雲照)△水戸黄門記(兎月)△佐原家騷動(長講二席　京山恭爲)△倉橋傳助(桃中軒如寅)
●入場料は破天荒……

引續き!!大入滿員
▼義士劇第三編
赤垣源藏
□新派□大悲劇
潮の花　全三巻
大好評の大正館へ來れ

御成座
御成町　電話二九一
六日目盛題
戀と慾　全十三場

大正館
櫻井町　電話八七三
六月九日より差換寫眞
◎泰西活劇『救の網』
◎新派大悲劇『潮の花』全三巻
◎日本旧劇『赤垣源藏一代記』

酒煙草きらひになる藥
禁酒丸……禁煙液
酒や煙草の嫌いな人になる郵券二錢送れば說明書及び大澤博士の禁酒論進呈
大阪市靭南通二　森田商店

ゴム底靴
輕便　德用
學生吏員自轉車用旅行運動野球勞働用に適し足痛なく高評各階級に多大也
價六拾五錢
特別卸小賣
文數御通知あれ
六一九番

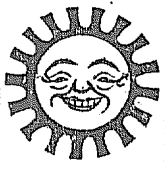
中元景品付大賣出
贈答用最好適品
品名　八千代　芙蓉　敷島　大和　武藏野　朝日　しらぎ
賣出期間　自大正五年六月十日　至大正五年七月十日　毎日曜日
抽籤及景品引換期間　自大正五年六月十八日　至大正五年七月三十日　即時引換
抽籤及景品引換場所　京城明治町　東亞煙草總販賣所　仁川新町　仁川官煙販賣組合

△壹等	金五圓(當籤者希望商店の商品切手)	一八本
△貳等	敷島一ボール	九〇本
△參等	同五包	三六〇本
△四等	同一包	九〇〇本
△五等	兎一包	一六、六三二本

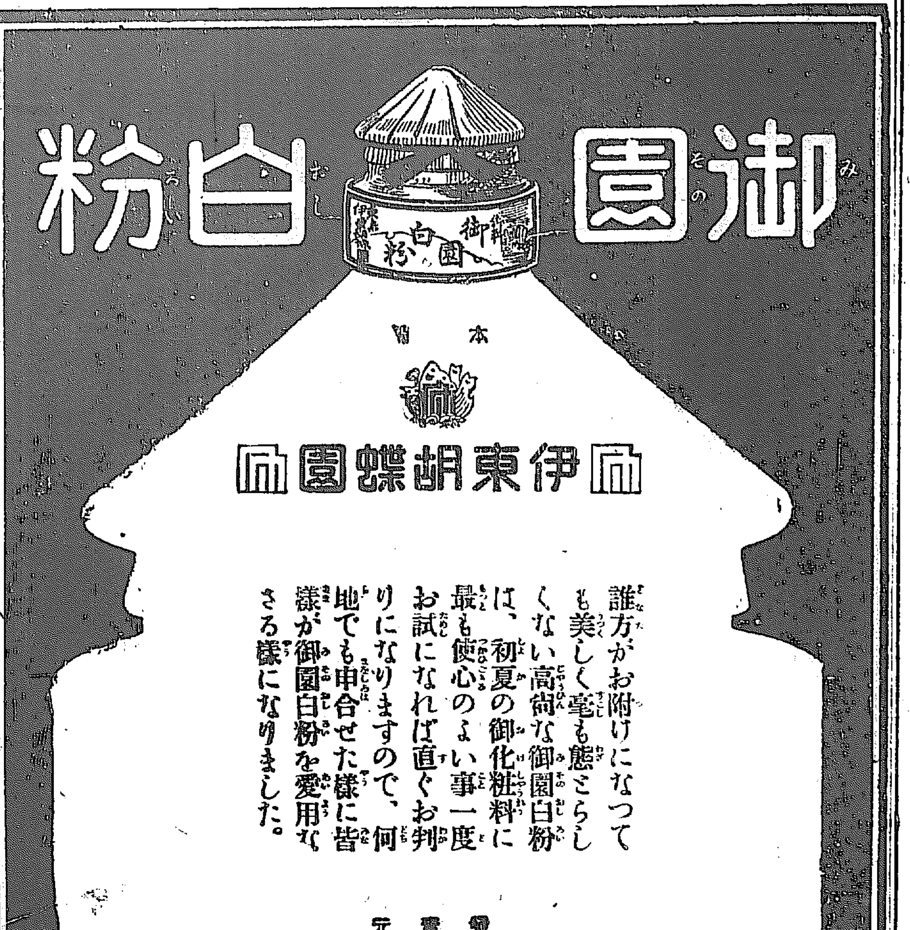
又は景品券二枚に付八雲一包
京長谷川町　京城官煙元賣捌組合
京黄金町　官製煙草京城組合
仁川新町　仁川官煙販賣組合

本院　分院　診察
京城支那領事館前　電話一五四一番
龍山鶴溫泉驛前　電話一一一一番
午前八時至十二時　午後自一時至六時
中村耳鼻咽喉科醫院

無代送呈
ハガキにて梅毒とか淋病とか病名を記し申込あれば詳細なる說明書封送す
東京市本所向島小梅町
東京藥化學研究所

ばい毒患者全快の慶

簡易自宅療法
世の中に、梅毒ほど恐ろしき病はなく又梅毒ほど全治の見込ある病はなし、而も今日梅毒に苦しむ人多きは、舊時代の療法に因循しつゝあるが故也、進歩せる醫藥界の新權威を知らんと欲せば一日も早く當研究所の誇りとする新川ひよ、身體に障なき専門内服藥の特効に依り、患者の體中に一大消毒が行はれて、血も肉も潔淨になり、梅毒の黴菌は、藥劑の化學作用に因り、自然に體外に排去さる、從來あらゆる療法に悲觀せる、梅毒の患者さへも本療法に依り、始めて安全に治癒の喜びを指折り數へて期し得べし
平凡なる賣藥類と同視する勿れ

美人美男子コレカラできる色白くなるゲンゾ液
今東京で大評判の元素液色黒き顔赤き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御附送あれば送品す
送料内地八錢　府鮮卅錢　臺灣廿錢
小壜二十錢　徳用四十錢
東京神田和泉橋通　松本藥店



宮本武藏

第六十六回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

其内堀口七之助竹笠二つ射落して勝と定まる、松田新十郎殘念に思ひましたが仕方がない赤面して引退がる、三番目に出てきましたのは當家中に於て御小姓番頭を勤める山中伊織といふ人、今一人は同じく岡崎織部の門人御小姓役を勤める生駒采女、兩人相並んで的を爭さう、山中伊織笠二つ落して勝となる、四番は岡崎織部の倅子岡崎左門、今一人は家老上田主水の御子息上田半之丞、共に花を欺むく美少年、何れの花や勝さらんと上下鳴を靜めて見物をして居ります、其中兩人其場へ進み、互ひに竹笠二つ宛射落して勝負なしといふ事に相成る、若年ながら弓術名譽、何れ劣らぬ梅櫻と一同聲を擧げて賞美いたしました、さて第五番目には愈々長束と宮本の勝負と相成る東の幕より立出でました長束傳八郎、栗梅色の衣服に茶色革の袴、襷十字に綾取り、綾藺笠目深にして節卷籐の大弓に鴻の羽の矢を携さへ、春風と名付けたる例の栗毛の馬に跨り一鞭くれて乘出す、南の幕より出立でましたのは宮本武藏、黒の小袖に萌黄色の革袴、同じく綾藺笠を被り三所籐の弓に鷲の風切りの羽を以つて矧いたる矢を取添へ、上田主水より借用したる夕霧と名付ける月毛の馬に打跨り一鞭當てゝ同じく其へ乘出した、兩人棧敷へ向つて一禮いたし、ハヨーツと一聲懸けてトツ〳〵トツと乘出だす、長束は八條流の馬術指南役弓は吉田流を能くいたす旨いのも尤だが宮本は劍術使ひ、劍術より外に武藝の心得はあるまいと思つて居たところ、今日の進退、手綱捌きの鮮明かさに一同大いに驚いて見物して居ります、ハツ〳〵パツ馬足に砂を上げて乘廻はし〳〵一の的を過る時長束傳八郎ガツキリ弓に矢を番がへヒヨーブツ、と切つて放つ矢は手元狂つて竹笠の上一寸計り放れて飛んだ、ハツと思つたが騎射では二の矢を放つ事は出來ない、パツ〳〵パツと行過ぎる、後れて乘込んで來た宮本武藏、弓に矢を番へて落し矢に切つて放つ、ビユーツと風を切つて飛來つて矢竹笠の眞只中を射て落す、ワーツといふ一同の聲、殘念に心得ましたから長束傳八郎二の的の前に來つて馬足を緩め、ガツキリ番へて引絞り、矢聲と共に切つて放たんとした時、如何したりけん長束の持たる弓の弦がブツツリ切れた、ハツと思つたが弦を懸代る隙がない、パツ〳〵〳〵其所を乘拔ける隙間もなく乘込んで參りました武藏二の矢を番へて切つて放つ、覗ひ違はず竹笠の拇緒を射放したから笠は空に舞上る、君公を初め家中一同射たり〳〵と賞める聲棧敷も割るゝかと思ふ許り長東傳八郎之を見て烈火の如く憤り馬を飛ばして引返して參り宮本をハツタと白眼んで 傳「無禮であらう宮本氏拙者弓弦の切れたは時の災難、何故弦を代て再び射るまで待たぬか、騎射には禮法のあるもの、御邊は弓馬の禮を辨へんか」宮本聞いて 武「之は御無禮なる一言、貴殿の弓弦の切れたは時の災難、拙者が貴殿の弓弦を代るまで馬を止めて待つて居るといふ譯には參りません、直ちに的を射落しましたに格別不思議はこれなく……」傳「言ふな〳〵、卑怯未練とは汝の事、武士にあるまじき所業、勘辨ならん、サア騎射に於ては此方後れを取つたりと雖ども馬術に於ては汝如き者に恐るゝ傳八郎に非らず、汝の馬術と拙者の馬術と何れが勝り何れが劣るか此場に於て勝負いたさん」武「コレハ理不盡なる一言、卑怯未練とは貴殿の事でござらう」傳「默れ青二歳、傳八郎が馬足に懸けて身體微塵にいたして呉れる、覺悟に及べ」と手綱引締め一角蹴込んで長束傳八郎、ハヨーツと一聲上ると等しく宮本望んで馬を躍らせ飛懸る、宮本「これは無禮なり」といへども更に聞入れず馬足に懸けて踏破らんといふ勢ひで馳懸る、心得たりと宮本武藏馬を弓手の方へ乘開き之を避けんとする、逃がしはせじと傳八郎馬を巴に乘廻し〳〵追立て〳〵追廻す、宮本は右に避け左に開き傳八郎を近寄せじと乘廻はす、光晟侯遥に御覧に相成り 光「アレ止めい早く止めい」との上意。

六月十三日九星
舊五月十三日辛巳
本命一白北閉大安

[illegible]

▼六十四回勸業債券輕便賣▲
抽籤八月。七月二十五日迄月賦販賣取扱致候
御報次第案内書送ります一組十枚申込料五拾錢
京城黄金町一丁目　國民興産株式會社京城出張所

常に健康で起たき人 今から太巫糖を召上れ
効は牛乳の數倍 腐敗の憂ひなく最も安心
大　武丹 壹円　定價 中 弐拾錢 小 八拾錢
小西久兵衛

專賣特許
器械療法
東京支部設明
冷温自在眞空水治療法器と包皮矯正器は共に根本的秘密療法也
生殖器の短小や包莖にて外形が人並でないとか陰萎早漏遺精
起力衰弱精力減少病腦神經衰弱等の人は ハガキで申込ば多數の
療狀と説明書ある圖入説明書を無代送呈す
東京京橋區北槇町北 大阪北區北森町 新療法研究所

くだりばら はらいたみ
下痢と腹痛には油斷せず服用あれ
直ぐから効驗著はる
健胃固腸丸
大阪　谷回春堂

小兒科 内科
京城吉野町（元仲ノ新地遊廓跡）
特に呼吸器胃腸腎臟病 腺病胎毒小兒眼疾
入院隨意
雨森醫院

富味豊品質卓絶中
攝津灘魚崎
醸造元 大塚醸造所
金露
清酒 優等
各地到所信用ある食料品店に販賣せり金露印と御指定御買上被下度候
京城南大門通三丁目
發賣元 大塚京城支店
電話四〇一番 振替口座五七〇番

銚子港 田中玄蕃醸造
ヒゲタ醤油
京城明治町一丁目
代理店 櫻正宗發賣元 山邑京城支店
電話八四九番 振替貯金京城七五番

髪に一等よいあぶら
パール
世界的 煉香油 萬人向
髪の培養にパール煉香油をおつかひになれば黒くつやを増し房々と軟かに其芳香は又格別です
本舗東京 平尾鉎也商店
關西代理店大阪 平尾贊平支店

高級家庭用 エゾロン石
マッサージ美顔料 エゾロンクリーム
皮膚の保護用 エゾロンパウダー
●石鹸。化學者がインキや藥品の洗ひ落ちるは此石鹸に限ると云ひ、女髪結が油手には此石鹸が一番良いと申します。本舗は皮膚の發育を助け艶を出す本邦唯一の石鹸と信じて居ります。
●クリーム。皮膚の滋養食物にして組織を更め肌の質を良くする故あれ性の人及は剃後には必要です。
●パウダー。一番善い汗臨で赤坊を育る人わきが皮膚病の人には此品に限ると云て居ます。
飛行家スミスが皆て見た事のない善い品であると推賞して居ります。
三越 白木 松屋其他一般雜貨店にあり
東京・丸の内 藤原商店化粧品部
支店 京城黄金町二丁目

南滿洲鐵道株式會社
撫順炭
特約販賣所
京城南大門通一丁目（電話九二〇番） 西村商會
元山代理店 元山旭町 小泉商店 電話四五一
京城南大門通一丁目 三國商會 電話一八〇九番 西大門貯炭場 電話九〇〇番 振替京城一二〇六
平壤代理店 平壤本町 平松商店 電話一六一番
各代理店 開城大和町 岡本商店 / 水原驛前 坂手重三郎 / 同 城内 中島政吉 / 平澤驛前 石川耐藏 / 鳥致院驛前 朝鮮産業商會 / 清州 同
公州旭町 高瀬卯作 / 裡里榮町 土車仁作 / 全州 同商店 / 江景中町 林龜助 / 鐵原 小宮山八郎 / 忠州 日榮商會

金鷄香水
ホ、ホ ホータル來イ
金鷄香水 床しいぞ
ツル香水も 床しいぞ

萬年毛筆「タイヨー」
新案特許三六二九八號
▲六月十五日迄 特價六十四錢 書留金八錢
京城日報社代理部

京城日報

第三版

の中間に高島易斷總本部と書かれた[illegible]の易成金、易名中田元の易斷所だ
▲中田が儲かつたのは近年だ明治三十六年の秋、淺草公園[illegible]を利用してより云ふ[illegible]拍子に儲かつて全盛時には年收一萬五千圓以上と云ふ素晴らしいことなつた[illegible]は云ふものゝたゞでは餘りに[illegible]ぎる、齎らされた成功の裏には人に知られぬ何者かゞ潜伏して居らねば[illegible]な[illegible]つて一心に心願をこめた事もあつた[illegible]垢離を取り、あの百尺以上もある深[illegible]い井戸の水を浴んでは浴び、浴びて通じたのだ[illegible]この一心不亂この熱心が矢張り天に[illegible]で其占斷する刹那の態度に至つては[illegible]非常に深き印象を間鑑客に與へずには置かぬ見料を無法に貪る處に[illegible]の[illegible]いと云ふ處より內緣の妻の名を其儘借用して今日なほ中田元で押し通し[illegible]

時局評話
徳富猪一郎氏談

袁總統長逝の報を傳へた翌夜、城西青山の邸に參じて、徳富監督の高話を伺つた。今、要を記して讀者に頒つ。＝高賀生＝

一、今後の支那

袁世凱氏が病氣で死んだといふのは彼氏にとつては寧ろ幸福であつたかも知れぬ。昨今の樣子では、袁世凱氏は氣の毒ながら窮の鼠同樣で、愈取り詰められて殺されるか、さもなければ嚙を喰ひ破つて他に逃げ出すか二つの中一つより他に道は無かつたのである。病氣で死んだといふとは寧に殉難療治を借らずして袁氏其人の爲めには屍體をつけたのであるから寧ろ幸福と言つてよいかも知れぬ。支那の爲めから言へば、袁世凱氏を失つたといふことは惜しいと言はなけ[illegible]れ共兎に角現在の支那では、彼が第一流の人物である。袁氏が居れば曲りなりにでも纏まりが付くが、他の連中ではそれが覺束ない。然かるに袁氏が窮の鼠になつたといふことは何であるかと言へば、自ら進んで帝政を布かうとしたのが大間違であつたのである。此の間違の爲めに、彼は破綻百出したわけである。彼の敵は此間違に乘じて群り起つたのである。遠度、袁世凱の後を享けて黎元洪氏が、大總統職を執ることとなつた。しかし黎氏は袁氏とは人物が違ふ。黎位の人間ならば、日本の旅團長や聯隊長にも幾人も居る。迚も南北を統一する機略のあらう筈は無い。で、今後の形勢は袁氏が死んだが爲めに先づ北部の勢力が若干減じたといふことは言ひ得るけれ共、之が爲めに南部の勢力が直ちに北まで及ふといふのは間違で、恰度支那の狀態は三國誌の初めにあるやうなわけで、群雄割據といふことに愈なるだらう。支那を統一するといふことは左程難かしいことでは無いけれども、兎に角、金の懸かる仕事だ。何處からか資本を出すものが無くては、其れが出來ない。袁氏が何うやら是れ迄やつて來たといふものは、列國から兎や角借款をして來たからのことだ。袁氏の力が有ると言へば借金をする力といつてもよい。是れは或は袁氏の唯一の力であつたかも知れぬ。併しその袁氏すら金が無くて困つたから今後の支那は、餘程見込がつかなければ金を借すものはあるまい。金と言つても百萬や二百萬では不可ない。漢高祖は黄金四萬銀で天下を取つたといふが、今日支那の一統にも少からざる經要がかゝることは明かな事實である。然かるに其金の出し手が無いといふことになれば、先づ當分は群雄割據であらう。しかし其の狀態が何時迄も續き得るので無からう。皆疲れた上には自然統一の傾向になるのであらうと思ふ。

內地臺灣所觀
漢城銀行專務　韓相龍

四、臺灣の貿易

本島の貿易は外國貿易と內地貿易と（朝鮮貿易を含む）の二種とす、領臺以後外國輸入品は關稅の重課と特に對岸品は協定稅率の制定を受けざるにより能く其の輸入を阻止され輸出品は輸出稅の廢止、對岸諸港へ內地貨物仲繼輸出の激增、西洋戰亂により日本品の販路擴張及び本島生產力の增加等により能く其輸出を增加せしめ、內地貿易としては關稅の障壁なきと內臺間交通の頻繁との兩者をして經濟的連絡の度を益々進め逐年著大なる發達を告ぐるに至れり。今大正四年度內外貿易高を見るに

外國輸出品　一千五百六十萬圓（金銀二十萬圓含）
內地移出品　六千二百六十萬圓（金銀三百四十萬圓含）
少　計　七千八百二十萬圓
外國輸入品　一千二百八十萬圓（金銀八百萬圓含）
內地輸入品　四千八十萬圓（金銀二十八萬圓含）
少　計　五千三百六十萬圓
合　計　一億三千一百八十萬圓也
輸出超過　二千四百六十萬圓

此れを內外貿易別にすれば外國貿易高二千八百四十萬圓にして輸出超過高二百八十萬圓、內地貿易高一億三百四十萬圓にして移出超過高二千百八十萬圓なり外國貿易は貿易總高の二割二分內地貿易は七割八分を占む臺灣對朝鮮貿易は其關係微弱にして移入としては米及び大豆の二三萬圓とし移出としては酒精の若干を見るのみ。

輸移出入の重要なるものを揭げんに輸出品は茶七百萬圓を第一位とし樟腦三百二十萬圓、燐寸九十萬圓、移出品は砂糖三千六百萬圓を始め米八百萬圓、酒精五百三十萬圓、樟腦油一百九十萬圓、礦物一百九十萬圓、樟腦一百八十萬圓の順序となり、輸入品は油粕二百三十萬圓を第一位とし阿片二百二十萬圓、葉煙草一百萬圓、移入品は乾魚及び鹹魚類二百九十萬圓を始め鐵類一百六十萬圓、燐寸一百三十萬圓、清酒一百二十萬圓、藥品及び火藥類一百二十萬圓、麥粉一百萬圓の順序となる輸出仕向地別を記さんに北米合衆國六百萬圓を始め支那五百萬圓、關東州三百萬圓、英吉利九十萬圓、香港六十萬圓、佛蘭西三十萬圓、英領印度及び海峽殖民地三十萬圓の順序となる

金剛山寫生　平福百穗

△神溪寺から三四丁普光庵があるが集仙峯を其正面に小仙峯を擁し緑を深くして林に靄ゐる雅子が好く

□一句づゝ（五月十日の句會吟）

砂地越ゆて蕎畑若葉風かな　句坡
煙突の高さ河風が若葉かな　鳥
庫鍵振り鳴らし若葉袖すりぬ　目
洛の道寺阪のぬかり若葉晴れ
平　柳　堂　池

京日詩壇

○野居書懷　古城梅溪
春風壺日落花饒。世上榮枯酒一瓢。此地優遊堪晦跡。不從黄鳥願遷喬。
評曰　閑適可欽

○同　上　高田小介
桃李成蹊鶴護扉。閒居空待贈新緋。首陽莫是非皇士。笑隱雲中採蕨薇。
評曰　飄詠師古

○春柳　齋藤三寅
勞躬宮嬉羅袖長。新條親水御溝傍。細腰今日爲誰舞。不管春風夢一場。
評曰　詞致婉曲

○同　上　高田小芥
千條撩亂拂池塘。不辭離愁絆得長。恍是佳人折腰步。柔娜搖曳似羅裳。
評曰　淸藻妍麗

○宋時烈　阿部無佛
寄勿綸人仰風。惜哉中道遠圖空。百年老少論猶在。八道于今各競雄。
評曰　控縱自如

十二日朝刊（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金六拾五錢　[illegible]　郵稅一ヶ月金拾五錢　三ヶ月[illegible]　▲郵券代用二割增

廣告料　▲五號活字一行金七拾錢▲特別指定所內一行金壹圓貳拾錢▲三號活字の一行は五號活字の[illegible]▲[illegible]

發行兼編輯人　鶴田直誠
印刷人　小川三之介
發行所　太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話（編輯局長三四五番　營業局二二六番　[illegible]）　振替貯金口座京城三〇四番

朝鮮研究會五週年記念出版

新朝鮮　全

菊版總クロース約三百頁　定價金壹圓　郵稅不要

本書の內容

▲新朝鮮の前に書す　朝鮮研究會主幹　青柳南冥
▲偉大なる帝國の使命　內閣總理大臣伯爵　大隈重信
▲朝鮮王の局外中立と國防同盟　在東京 前漢城新報主幹　菊池謙讓
▲同化政策根本策論　前遞信大臣男爵　後藤新平
▲教育勅語と新附鮮民　文部省參政官　大津淳一郎
▲金末の怪傑蒲鮮萬奴　東京朝日新聞記者　村田懋麿
▲世界的產物さ　外務省參政官　田川大吉郎
▲朝鮮統治の根本方針　前韓國財務官 前宮內府書記官　井上雅二
▲朝鮮の膨脹　法學博士　蜷川新
▲日鮮同種同根論　衆議院議長　島田三郎
▲朝鮮には平民の歷史無し　日本及日本人主幹 文學博士　三宅雪嶺
▲首都を京城に移せ　東京朝日新聞記者　細井肇
▲大日本主義を論じて在鮮青年に警告す　朝鮮研究會主幹　青柳南冥
▲朝鮮農政根本策論　農學博士　橫井時敬
▲東拓論　同志會幹事長　富田幸次郎
▲東拓殖民事業の成績並滿蒙發展私見　東拓理事　井上孝哉
▲鄭夢周の手簡に就て　朝鮮總督府判事 法學士　淺見倫太郎
▲朝鮮開發の要義　同志會總務　安達謙藏
▲歐米列强の殖民政策を比較して我總督政治を評す　前農商務大臣 貴族院議員　仲小路廉
▲帶方郡は日本文明の發祥地　在東京 朝鮮研究會評議員　山路愛山
▲佛教の振興を圖れ　前韓國財政顧問 貴族院議員　目賀田種太郎
▲鮮滿の經濟的統一　朝鮮銀行理事　水越理庸
▲朝鮮に於ける外國宣教師　セウルプレス社長　山縣五十雄
▲朝鮮文明と鎌倉時代　前代議士 朝鮮研究會評議員　福本日南
▲朝鮮の今昔　中樞院書記官長　小松綠
▲新朝鮮の鑛業　朝鮮公論社々長　牧山耕藏
▲總督政治を非難する一部の論者を論す　京城通信社々長　大垣丈夫
▲現在の京城　京城商業會議所書記長　大村友之丞
▲既往の朝鮮と現在の支那　在東京 前漢城新報主幹　菊池謙讓
▲荒蕪地開墾と土工兵制　伯爵　大木遠吉
▲關稅政策の誤謬（斷々乎として稅關を撤廢し我殖民策を確立せざる可からず）　前韓國財務官 京城新報社長　青柳南冥
▲新朝鮮の後に書す　朝鮮雜誌社々長　釋尾旭邦

◎京城通信本書を評して曰く
前韓國財務官青柳南冥氏は高遠なる理想を有し朝鮮研究會主幹として古書の飜譯と其出版に從事し傍ら京城新報を發行し刊行書目約四十種出版部數六萬五千の多きに達し確かに朝鮮學界の重鎮たり今回其五週年の記念として朝野名士の朝鮮に關する高論卓說を編纂し以て新朝鮮と題する一冊子を發兌せり大隈伯爵、後藤男爵、三宅博士、目賀田男爵、島田議長、大木伯爵等三十二名家の意見論說を網羅したる者にして近來の好冊子也と

◎『新朝鮮の好評』と題し日本電報通信本書を評して曰く
朝鮮研究會主幹青柳南冥氏の新朝鮮の前に書すの一文を冒頭として大隈首相、後藤男爵、安達謙藏、山路愛山、仲小路廉、島田三郎、大木遠吉伯、福本日南、目賀田男、早川鐵治、小松綠等內鮮數十名家の名論卓說を網羅し朝鮮の文物を縱橫に論議し半島の面目爲めに赤裸々たり蓋し近來罕に觀るの好著たるを失はず
（發行所京城黄金町三丁目朝鮮研究會定價金壹圓）

發行所　京城黄金町三丁目　朝鮮研究會

京日案內

普通（一回前金三十錢無割引　一行名一回每に金五錢增）
番外（一回前金六十錢無割引　一行名一回每に金五錢增）
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

◎西洋料理の心得ある女中一名入用　姓名在社　388
▲地圖各種▼世界●二五●南洋●二〇●朝鮮●二〇●日本●二〇　ツッボヤ書店　320
◎本町◎振替貳貳參　配達人至急募集希望者は本人來談あれ但し市中に確實なる保證人を要す　明治町二丁目　町田新聞部　380
店員入用　十五歲以上二十歲迄　龍山鐵道構內電車終點　大和屋雜貨店　電話五〇二番　372
開運を望むもの又は世路に煩悶する者生年月日に金五十錢　熊本市外木山本通三五一　白雲堂　377
萬年筆修繕販賣如何なる部分にても迅速修繕▲京城本町二ノ二九　五振替京城一二八三　正氣堂名刺舖　337
◎古本高價買入弊堂の勉强是非御試賓を乞御報一刻參上▲京城本町　四電話一七八一番　群書肆　348

番外

◎明治町フランス教會正門前　▲ホネツギ▼うちみくじき治療　◎電話二五九五番　荒川仁壽堂　362

讓下宿業　市內目拔の場所目下盛業中（姓名在社）　389

◎風は萬病の基　すぐカゼピリンを召せ　京城旭町一　淺野樂天堂　343

醫師一名至急雇入たし　希望者は履歷書携帶本人來談あれ　京城南大門前　救世藥館　387

恩給年金低利秘密確守　其他日獨一時賜金公債通帳高價買　即時御立替　數年分　京城永樂町一丁目　商品陳列舖表門前　江州屋　344

新築貸家官吏向　家賃十二圓以上十六圓まで數戶　初音町一二〇〇番地　電話一八〇六番　野中　383

京城春川間　乘合貸切自働車　賃金片道四圓　京城發午前八時　春川發午前九時　京城水標橋通り　電話貳壹參八番　京春自働車商會　支配人　松田謙男　50

分礦物各種　坂元分析所　京城太平通二ノ二二五　電話一三四四　358

家傳　りん病三日藥　輕症は三日全治　服んで御自分驗ある不思議の妙藥　京城明治町二丁目四二　明治旅館事務所　朝鮮發賣元（電二二五）　本舖　473

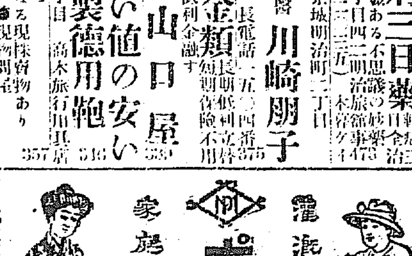
內科小兒科　女醫　川崎朋子　京城明治町二丁目　長電話一五〇四番　375

恩給年金類　短期低利　長期低利立替　保險不用　市內土地擔保低利金融す　京城南大門外（若御成町）　山口屋　335

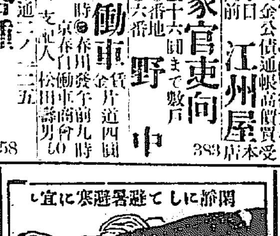
皮より強い値の安い　專賣　柳製德用鞄　京城本町一丁目　高木旅行用具店　516

株　有利にして確實なる現株賣物あり　◎公債株　◎現物問屋　京城本町二丁目　電話九三九　田中友吉商店　357

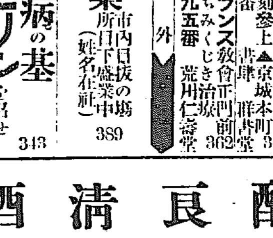
◎京城春川間◎自働車賃金片道四圓　京城發午前八時　春川發午前八時　南大門通二丁目　廣橋自働車　主務　金正潤　電話二一九番　322



松田式ポンプ
家庭用　灌漑用
御申越次第目錄進呈
朝鮮一手特約販賣　京城本町二丁目　釘本藤次郎商店　電話（四五番　二七番）　振替京城二五番



開浴　避暑避寒に宜しく
溫陽溫泉



醇良清酒
釀造發賣元　大阪府堺市　肥塚源次郎
特約販賣店　京城本町三丁目　佐藤牧太郎
特約販賣店　同本町三丁目　明治屋支店

破產決定公告

京城府苑南洞七拾貳番地米穀商　本田滿壽男
一、右ノ者ニ對シ大正五年五月貳拾日午前拾壹時破產ヲ宣告シ朝鮮總督府判事畑義三ヲ破產主任官トス
一、破產管財人京城府樂園洞二百九番地辯護士高橋章之助
一、破產者ニ對シ債務ヲ負フ者又ハ破產者ニ屬スル財物ヲ所持スル者ハ破產者ニ辨濟又ハ交付ヲ爲ス可ラス
一、債權者ノ權利ノ届出期間ハ大正五年九月拾參日迄トス
一、第壹回債權者集會ハ同年同月貳拾七日午前拾時債權調査ハ同年拾月拾八日午前拾時當法院ニ於テ之ヲ開ク
大正五年六月七日午後參時宣告
京城地方法院

○兩黨大統領候補者選定

共和黨は殆んど滿場一致を以て大審院判事ヒユース氏を大統領候補者に選定し尙進步黨は歡呼場裡にルーズヴエルト氏を大統領候補者に選定せり(紐育電報)

▲ヒユース氏承諾

共和黨大會に於て滿場一致を以て大統領候補者に選定せられたるヒユース氏は同黨大統領候補者として起つことを承諾したり(紐育電報)

○ヒユース氏の政見

ヒユース氏は大統領立候補承諾の電報中に自己の政見を發表したり即ちウヰルソン大統領の對墨政策を極力非難し統一的米國主義の固執軍備上及び產業上の充實保護關稅政策の復舊並に貿易の奬勵保護等を痛切に主張したり(紐育電報)

○兩黨副大統領選擧

市俄古に於ける共和黨大會にてはフエーヤバンク氏を副大統領候補者に推薦せり又進步黨大會にては同黨副大統領候補者としてジヨン、エム、パーカー氏を推薦したり(紐育電報)

○英佛內閣軍事會議

英國內閣に於て軍事會議開催せられ佛國側よりはジヨツフル將軍及び駐英佛國大使キヤムボン氏英國側よりは外相グレー氏及び軍需大臣ロイドジヨージ氏出席したり(倫敦電報)

○北軍進擊停止命令

北京政府は十日四川方面の北軍に對し進擊停止を命じたり(北京特電)

○露軍の成功と捕虜數

露軍はウオルニアに於て著々として成功を收め居れり露軍が攻勢を開始して以來獲たるところの捕虜總數は六萬五千名に達せり(露都電報)

○米大統領の弔電

米國大統領ウヰルソン氏は八日北京政府に宛て袁世凱氏の逝去を悼み同時に黎元洪氏の就任を祝せる電報を寄せ來れり(北京特電)

○四鄭線と技術者

四平街鄭家屯間約五十餘哩の所謂四鄭鐵道は滿鐵において其の工事を引受くべく既に四平街に相當家屋を借受け着々準備中なるが既報の如く同鐵道技師長は借款契約に基づき日本人たる滿鐵技術局員工學士藤根壽吉氏傭聘のことに交渉纏まり近く其の契約の調印を了るべく同時に技術方面に關する人々の傭聘契約も決定され何れも滿鐵より人選其衝に當らしむる筈にて唯會計課長及び會計に關する人物は正金銀行より適當なる者を推選することに決定し居り其の候補者も既に定まり居ると云へり正金銀行より貸與すべき敷設費の中約十萬圓は支那側に交附濟となり居れば支那側においても出來るだけ準備を急ぎ居り叙上人物の傭聘契約調印と共に四平街に事務所を設け敷設工事に著手すべしとなり(大連)

○鮮銀の出張所 營口に新設せむ

朝鮮銀行の對滿洲施設は漸次進捗し最近四平街開原の兩派出所を出張所に昇格し六月十二日よりは小額仕拂手形を發行する事となりしが更に營口出張所を新設する事となり目下其々手續き中の由なるが其の開所は七八月頃なるべく場所は新市街に選むべしと

○農工資金需給

滿洲農工銀行五月中に於ける農工資金の需給狀況を聞くに同月中同資金の貸出高總計百卅八萬四千二百六十二圓にして右の內農工資金別を示すに左の如し

△大豆耕作資金	八千四百五十八圓
△煙草耕作資金	二萬八千九百六十六圓
△倉庫建設資金	三萬八千零六圓
△人參資金	廿七萬九千三百八圓
△蠶業資金	二千百五十圓
△水利資金	卅五萬七千百廿七圓
△堤防修築資金	一萬五千七十二圓
△開墾資金	十二萬一千百六圓
△果樹栽培資金	四千百六十圓
△種子及び肥料資金	七萬四百五十二圓

而して之を店別とする時は本店の七十二萬八千七百四十圓開城の四十二萬一千三百三十六圓の貸出を以て最とするも右の貸出は概ね未回收の分も包含するものゝ如し

○淸會線一部開通期

咸鏡北道淸津會寧間に敷設中なる淸會鐵道の內淸津蒼坪間の鐵道線路工事は茂山嶺の隧道工事も豫定の如く進捗し其他沿線一帶の補修工事も著々進行しつゝあれば今後大なる支障のなき限り十月中を以て淸津蒼坪間三十四哩五十七鎖に一部の運轉を開始することを得可く十一月一日を以て營業を開始し同日開通式を行ふ筈なりと

○輸移出入金銀高 稀有の增加

五月中に於ける金銀貨並に金銀地金の輸移出入高を見るに輸移出高は金貨及び金地金百二十萬九千四十八圓銀貨及び銀地金二萬五千七百二圓合計百三十二萬四千七百五十圓にして之れに對する輸移入高は金貨及び金地金二千八百四十八圓、銀貨及び銀地金一萬五千四百二十四圓、合計一萬八千二百七十二圓なり、而して一月以降の累計は輸移出高金貨及び金地金五百五十二萬四千六十圓、銀貨及び銀地金三百七十八萬七千五百五十二圓合計五百九十一萬三百九十二圓にして前年同期に比し百九十萬三千二百十九圓を增加し、輸移入は金貨及び金地金四萬四千七百十九圓銀貨及び銀地金十二萬五千三百二十六圓合計十七萬四十五圓にして前年同期に比すれば十一萬百三十六圓の增加を示せり

○船舶出入噸數

五月中に於ける鮮內諸港の出入船舶噸數は入港噸數汽船二十四萬六千四百七十八噸、帆船一萬七千七百三十噸、合計二十六萬四千二百八噸に對する出港噸數は汽船二十三萬六千百五十一噸、帆船四萬七千四百二十一噸、合計二十八萬三千五百七十二噸なりと

○甲山銅と搬路

久原株式會社にては甲山鑛山の引繼以來晝夜兼行の姿にて諸般の準備に努めつゝあるが同山は將來大規模の製煉に著手する豫定なると共に一方鎭南浦製煉所に對しても亦銅鑛供給の計畫あり、然るに目下の運鑛は一度城津に積出し同所より更に船便を以て鎭南浦に送るの一途なるが斯くては多數の日子と經費を要し極めて不經濟なるを免れざるより新に鴨綠江の水運を利用して甲山より惠山鎭を經て搬出せんとの計畫成り現に同行路に對して種々の調査に盡しつゝあり

○金物界の昨今

▲亞鉛板依然高値 昨今亞鉛板の市價は浪板一圓九十五錢平板一圓七十錢を唱へ之れを二三月頃の高値に比すれば約一割弱の下落となり居れど然も昨春頃の普通相場に比せんか尙ほ二倍強の暴騰なる爲め建築界の如き所謂『トタン葺』を頗る安上りとせし舊時代と異なり今日にては寧ろ瓦葺の方廉價となるより一般の亞鉛板需要は春來土木工業界の盛時に入りても激減し居れど相場は前記の如く存外下向かず尤も最近は外國品の入荷ポツ／＼來り爲めに大阪亞鉛製造會社が獨り專橫に相場を左右する能はざる事情等もあるに付今後は諸種の事情を綜合し多少下落するに非ずやとも觀測されつゝあり

▲鐵類は暴落 昨冬より本年早春に至る迄鐵類の暴騰は凄じきものあり京城にて丸鐵十五圓と云ふ非常の高値を現はせし爲め內地商人中には高率の運賃を厭はず米國其他の中立國より大輸入を企つるものあり又內地の民間製鐵所製品不十分ながら漸次市場に出で古鐵の搬出さるゝもの多きを以て之等の原因が相待つて最近鐵類は暴落し從つて京城相場も天井相場の半額乃ち七圓五十錢所なるが尙ほ當業者は前途幾分弱氣を唱へつゝあり

○露國產金輸入

留下落の爲め露領沿海州より朝鮮に入り込む鮮人等は露紙幣を携行するより金塊を持ち來る方有利に付昨年來此の傾向著しく元山鮮銀支店買收地金中露國產金近時少なからざる數に上る由

○利江國道進捗

京畿道利川より江原道江陵に至る二等國道二十一里の中最近江陵方面に於て一里半方竣工せるに付兩地間の未成區間は十五里となれり

○信貴山丸檢査

近く京城に設立せられんとする橋本汽船會社の經營者橋本喜造氏が墨西哥より購入せし信貴山丸(三千八百噸)は朝鮮へ入籍の申告あり遞信局にて檢査中なるが同船は元來客船なりしを貨物船と改めつゝあるに付目下工事中の由なれば檢査の終了は月末頃なるべく從つて正式に朝鮮入籍を終ふるは或は七月に入らん尙ほ信貴山丸は東洋近海航路に就航すべしと

○工業懸賞締切期

京城商業會議所に於て募集中なる家庭工業獎勵案の懸賞募集は本月末日限り締切りを行ふにより應募者は至急答案を送附す可き旨本紙に報道したるに數通に達したり今後續々送案ある見込なるが答案の審査は會議所に於て一應整理を爲したる後警官筋通信社員其他の立合を求め頗る公平なる方法の下に一等百圓二等三十圓三等二十圓の各賞金を交附すべしと

人事消息

▲德永主計大佐(新原海軍採炭所長) 十二日朝平壤より入京
▲岡部安致氏(朝鮮銀行技師) 十二日朝釜山より入京
▲カンデー氏 十一日夜入京朝鮮ホテルへ

■南言北語■

觀樹將軍郎の三黨首の會合に就ては諸種の批評が飛び出した▲三人で國論統一が出來るなら其他の人間は皆國民でないと云ふのか蟲の好過るにも程のある連中だとは貴族院側▲國防外交を除外して國家の將來に何の大問題がある、ものか政黨の公爭題目に是等大問題を含ますとせば政黨の存在は全く無意味に爲て了ふとは下岡忠治君▲其れから三黨首會合に自分を一人加へなかつたとて妙にケチをつけて居るが口先許りで腹のないのは眞平御免だとは國民黨側の尾崎法相評▲次に三浦將軍を馮國璋だと綽名を付けたのは軍人側▲凝り屋の仲小路康君頃日一詩を賦して曰く『雪裏離郎步々遲、綿々不盡芳山恋、鶴陵他歲縲絲山、織手紅屛壓虎鬚』何でも時局に感ずる所があつて是から成るべく大將は盛に例の騎馬旅行をやる▲處にして居ようと云ふのだ相な▲福島が健康上乘馬を止められたので此頃出掛けて居る北越地方では人力車に乘る▲が、何うも乘心地が惡いので狐鼠々々馬を借て乘廻して居るけれど▲何分田舍馬で思はしいのがないので大に閉口し▲留守宅への便り每に簡短に今度は早く歸宅する馬肥して置け、はお三泣すなに似て面白い處がある▲豪商淺野總一郎君を底古ます麴町の洗濯屋の頑固爺は有名なものだが▲此の間淺野家で或る外人を招いた時▲當日は是非洗濯物の手心をして呉れと賴むと何時に似ず爺早速承知した▲不審ながら先づ安心扨て當日になると干すも干したり客室正面の處に褌鼻袢、腰卷、股引など卑陋な處を撰て而も念入りの風色を際間なく干した▲淺野家では之れはと驚き交渉すると『手心して呉れと云ふから精々手心したのに何が不足かッ』と來た▲恁うなつては挺でも動かぬ旋毛曲の爺には流石の淺野家も泣寢入りになつた相な▲鳥渡之れ位の變人は珍しからう

染料問題

如何に之を解決すべきや

中央試驗所技師 今津明氏談

■學者と技術者の協力一致

―靑藍染料の勃興―

次に特筆すべき染料は靑藍にして明治十六年バイヤー氏は學術上より研究の步を進め、人造藍の製法を發明したれども爾後約十二年間は單に學理的に止まり、天然藍に比し價格不廉なりしを以て之を工業的に製造するに至らざりき。其後幾多の腦漿と幾多の失費とを犧牲に供し明治三十年初めて『ナフタリン』を原料として人造藍を工業的に製造することを得たり。無論發賣の當時に於ては種々の中傷妨害に遭遇したりと雖も、直ちにその眞價は世界各國の認むる所となり、天產藍は爲めに非常なる恐慌を來し明治二十九年に於ける英領印度天產藍の輸出は三千五百七十萬圓の巨額を占めしに、爾來其販路は人造藍に奪はれ大正三年には僅かに七十萬圓即ち昔日の七十分の一に滿たざるの有樣となれり。德島縣藍の如きも明治廿八年には七百二十三萬圓の產額ありしも、大正二年には僅かに二百四十萬圓を出すに過ぎず。之に反して獨逸國は明治廿九年には約一千萬圓の天然藍を輸入せしに、明治四十四年には既に人造藍二千萬圓を輸出し尙益々その輸出額は增加しつゝあり。これと同時に凡百の人造染料は續出し遂に獨逸を染料工業の總本家たらしめ、その輸出年額は一億萬圓以上に昇り、更に近來關稅の關係よりも多數の大會社は米國、露國、佛國等に分工場を設置せるを以て、若しこれ等を加算すれば獨逸人の手に成れる染料製造總額は更に莫大なるものならん。此等の製造工場は何れも其副業として化學用並に醫用藥品を製造するものにして、更にこれ等を合すればその額實に莫大なるものに至るべし。以上記載せる所によりて明なるが如く是何れも一朝一夕に得たるものに非ずして、多年科學的研究の賜にして學者は全力を研究に集中して新發明に勉め、資本家は其事業の性質を了解して出資に躊躇せず工場技術者は學理の應用に熱中して工業的生產に努力し互に相倚り相助けて以て今日の獨逸をなせるものなり。その一例を擧ぐれば人造藍の發明の如き幾多の學者と技術者とは其發明の改良及び工業的應用に就き多大の苦膽を嘗め會社は百萬圓內外の資本を消費して之を助け初めて現今の大成功を見るに至れり。

○熊三頭を生擒る

昔島小平氏の附近には近來多數の猿晝夜の別ちなく[illegible]巣窟を襲ひ周圍の岩石を取除き牡一頭牝二頭の仔熊を生擒したるが[illegible]

○田畑で溺死

慶北金泉南山町金在植の妹[illegible]は九日午前十[illegible]

○平壤の赤痢

平壤[illegible]警察署管內に於ては本月一日以來赤痢患者[illegible]

○大金を横領す

黃海道安岳[illegible]致したる果逃走して平壤に潛伏中を此程安岳署兵分遣所の手に取押へられ[illegible]

[illegible]某雜貨店の戶をこじ開けんとしたる所を家人が目覺して取押へ本町署に[illegible]

[illegible]さのため水浴せんと南人は浦亭洞地[illegible]共に同郡波谷洞地方に出張し歸途署[illegible]け出で憲兵現場に出張し搜索の末[illegible]五日午後六時頃漸く引網を用ひ死體を引上げたりと

移轉
京城永樂町二丁目七十六番地(元赤門通)
八千代生命保險株式會社京城支社
電話長一一三番

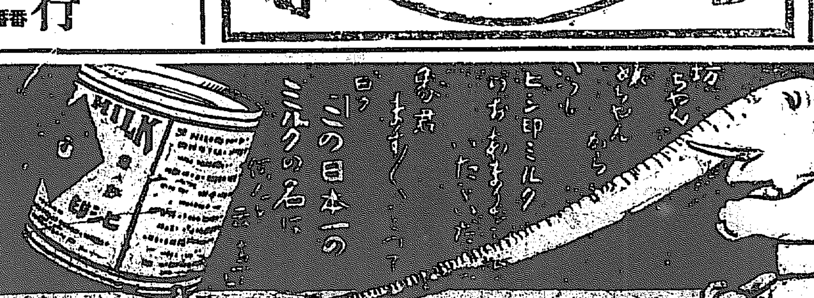
資本金五拾七萬五千圓(全部拂込濟)
諸積立金二十四萬百圓
京城南大門通一丁目
株式會社 朝鮮商業銀行
電話五五八番 六六八番
振替京城一六三四番
銀行長 趙鎭泰
支配人 豊田明敬
一般銀行業・倉庫業
南大門支店 電話五四四番 振替一七〇二番
本町支店 電話一五八二番 振替一九四番
仁川支店 電話八四九番 振替一〇六二番
平澤支店
東大門出張所 電話一八 六三番

內科 胃腸病 診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話專用二七二九番 三三番

支那の現在及將來如何
支那研究
四千歲の秘密と四百餘州の現狀は藏めて此一卷に在り
――(定價)金壹圓(郵稅十二錢)――
支那に對する我國の態度 總理大臣伯爵大隈重信
今日の支那 協和同人
支那の政治 文學博士 內藤虎次郎
支那の法制 參謀本部囑託 稻葉岩吉
支那の經濟 高等商業學校講師 根岸佶
支那の社會力 文學博士 遠藤隆吉
支那の外交 法學博士 寺尾亨
支那の教育 文學士 橫山鍵三
支那の陸軍 陸軍中佐 齋藤恒
支那の海軍 海軍中佐 八角四郎
支那文學概觀 東洋大學教授 古城貞吉
支那の動植物 女子高師教授 矢部吉禎
支那の鑛產 理學博士 小川琢治
支那哲學精髓 帝國大學助教授 宇野哲人
支那國民性 文學博士 桑原隲藏
支那の通商 民政部參事長 鶴見佐吉雄
支那利權競爭 高等商業學校講師 根岸佶
滿蒙の利源 三等主計正 旭爾一郎
支那一觀 韓國政院長 宮島大八
支那の時局觀 東亞同文書院長 根津一
最新版 菊判美本五百頁全一冊
發賣 京城本町一丁目 振替京城一一五 日韓書房

不要保證金
世界文藝叢書
帝大出身の諸名士譯 會員募集(申込至急) 入會希望者は貳錢切手封入申込次第內容見本送呈す
刊行書目
□每月一冊宛發行 □會費一ヶ月金壹圓 □送料一冊金拾貳錢
●希臘文學史○印度文學史○伊太利文學史○佛蘭西文學史○英吉利文學史○獨逸文學史○西亞文學史○西洋音樂史○西洋演劇史○ 本叢書は絕對に非賣品
發行所 東京向陵社 申込所 京城本町 振替二五七三番 電話六八四 二〇八六番 大阪屋號書店 (京城 釜山 大連 奉天 鐵嶺)

滿蒙處分論 定價金二圓
京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇番



釣り……龍山……

●騷亂は霧消せん 日本に及ぼす影響

—立花第十九師團長談—

北鮮駐在諸部隊檢閲の爲め一箇月の長途の旅行を終へ十日午後五時二十二分南大門著列車で歸任の立花十九師團長出迎の爲め清涼里迄行く將軍は副官や參謀に取圍まれ稍や日に焦け氣味こそあれ元氣例の如く旺盛記者を捉へて快談湧くが如し袁總統の死は清津で聞いた餘り

突然だつたので

最初鳥渡疑つたね、確か咸興でだつたら又キッチナー元帥の訃報だ是れも些か驚ろかされたよ併し共に爭ふべからざる事實だつた豈多少の感慨なしとせんやだ。袁總統の死は支那當面の問題を一掃してしまつた元々騷ぎが恁麽に大きくなつたのは言ふ迄もなく袁一人に有たので南軍側の要求する所も一に袁排斥に有た

其當の目標たる

袁が急死したのだから問題の起り樣が無いではないか、無論是れで天下は太平さ。と云つても之を絶對的に解釋してはいけない又何か外の問題で怎麽爭鬪が起らないものでもない然し尠くも今日迄騷いでた其種は去てしまつたのだから宗社黨の連中でも事を起さない以上大した事もないだらう宗社黨の連中にしても別に案じる事も無ささうだ。黎元洪と云ふ人も一體

非常に穩かな人

なのだ決して袁氏の樣な仕事師ではない其處に行くと段祺瑞は仲々黎とは性質が異ふ段は黎を呑んでかゝつてるし黎は又段に呑まれてる事を充分に知つてる然し共れは私の事だ、天下國家の爲めには事を共にする丈けの器量はあらう然も二人共袁の帝制には不賛成の點に於て一致し殊に段は袁が帝制を取消すに及んで國務卿の椅子にも就いてゐる其間にも

袁から兵權を

奪はうと云ふんで隨分苦しい接衝も講じてゐた隨つて袁總統の下にゐるよりは黎總統の下にある方がどれ丈け快く仕事が出來るか知れやしないだらう江蘇將軍馮國璋は問題ぢやない今迄にしても南北どつちつかずの曖昧な態度をとつてゐたのは實はどつちがどうなるのだか判斷がつかなかつたのだ。南方は今も云ふ通り其要求してゐた袁の退位が事實に於て爲された譯なのだから

北方に反對しよう

としても理由が立たないではないか我輩は怎も袁の死に依つて支那は騷亂が霧消するものと思ふね。袁の死に依つて日本に如何なる影響が來るか、好か惡かは唯一に政府の對支政策の奈何に在るのだか今日以後に俟つより外はない――何北鮮狀況か？此前に行つた時とは大變な相違だね無論非常な發展だ圖們江沿岸あたりの軍隊駐在地方で此前行つた時

内地人が二三十

人位ほかゐなかつた處が七八十位ゐ居るといふ有樣だ恁麽調子で大抵二三倍位增加してる。旅行中は隨分酷い目にも遭つた何しろ氣温が旅行中最高九十三度と云ふ高温度かと思ふと最低は零度と云ふ有樣だらう其れに雹に降られるやら何やらね。まあ詳しい事は何れ後にしよう時間が無い――成程列車は早くも龍山に著きプラットフォームには白水軍參謀長岡本師團參謀長其他出迎の劍光帽影が夕陽に映ねてゐた

戀？陶器？ キ元帥の逸事—小松翰長談

キッチナー元帥が陶器を愛翫するとの尋常ならざりしは世に知れ渡りたる事實なるが、其の愛陶癖は殆ど常識を脱するほどであつたといふ奇談がある。それは此の間京城に立寄つた露國新大使クルペンキー氏が吾輩に親しく話した事であるが同大使が倫敦で露國大使館の書記官をして居つた時の出來事である。倫敦に

▽貴族の寡婦 さんで一寸世間に知られた美人が居つた。此の婦人が頗る珍奇な陶器を持つてゐて之を應接間に飾つて置いた。ところがキッチナー元帥は此の事を何處からか聞き付けて或日此の婦人を訪問して其珍藏の陶器を見たのである。それ以來といふものは一週間に一度は必ず婦人を訪問すること恰かも軍律を守るの嚴格さと異ならず、日も時間も違へたことはなかつた。そこで倫敦で

▽非常な噂が 立つた。キッチナー元帥は女嫌で有名な人である然るに人もあらうに寡婦の家に頻な通ふといふところより察すればまんざら木石でもなかつたのか不思議なことであるといふ評判である。此噂はキッチナー元帥の耳に這入らぬでもなかつたが、そこは豪傑の物に頓着せぬ所から一向に平氣で、依然訪問を續けて居つた。ところが彼の寡婦さんも、餘り頻繁に來訪を受けるので、キッチナー元帥が果して

▽自分に愛著 して居るのか、或は單に陶器を觀にくるのか、一寸解らなくなつた。そこで非常に珍重して居つた陶器ではあつたが、一身の浮沈をためす爲には、此の位の割愛も是非がないとて、思ひきつて件の陶器をキッチナー元帥に贈呈したのである、元帥の歡喜は如何ばかりであつたらう、厚く禮を述べて歸へられたが、それきり元帥の途で元帥の影も形も寡婦さんの家には見ねなくなつた。寡婦さんの

▽失望落膽は いふまでもないが、世人も茲に始めて成程と合點ができたといふことである。少し話は違ふが、同じ失望落膽の奇談は京城にもある、キッチナー元帥が先年京城に立ち寄られた時に、慾張屋の連中が元帥の愛陶癖を聞いて、一番高麗燒で元帥をたらし込まうと考へて、其の旅舘の廣間に澤山の高麗燒を陳列し、元帥の愛翫垂涎、さてこそならめと待ち受けたのである。ところが

▽元帥は一瞥 をも加へずに立ちさられた。これは不思議世間に流布せられた愛陶説は虛僞であつたかと怪しまれたのは無理もない。吾輩も傍に居つて多少意外に感じたから、閣下の愛陶癖に關する風說は或は無根の訛傳でありましたかと、眞面目に聞いてやつた。ところが元帥は首を振つて、否々それは眞實である、併し予は美術を愛するので古物を賞翫するほどの趣味を持たぬ。康熙乾隆以前の物は

▽解らぬから 一切手を著けぬ、と答へられた。こちらは多くの高麗燒を遠路持ち運んで、大切な物を毀したり、車賃を損したりして儲け得たのは疲勞だけとなつたとていや非常にこぼして居つた。倫敦の話は幾分か艷物語で品がよい樣だが、京城のは慾張話で少し下卑てゐるが、キッチナー元帥を引懸ようとして失敗した結果は共に同じである。斯くも負擲の名人であつた元帥が遂に

▽水雷に引懸 たといふのは、よく〳〵の運命であらう、誠に殘念至極な事である。元帥が地下でこんな話を聞いたら、さぞ吾輩の饒舌を嘲けることであらう。

●強盜を銃殺し 棲家を燒く

璦に瀧縣革命亂の勃發後同地巡警局長外六名の巡警等は何れへか逃亡し其後は全く無警察の有樣なるを以て坊子管内名部落の浮浪民及び惡徒は晝夜の差別なく強窃盜を働き良民等は其堵に安んずる能はざるより同地附近四十餘の部落有志等は協議の上是等の惡徒を撲滅し後日の憂を除かんと各部落より血氣の若者を募り約八百名を以て一團體を作り各自小銃及び刀劍等を携へて去る二日同部落に集合し強窃盜と目せらるゝもの十四名の家宅を襲ひ内六名を捕へて立所に之を銃殺し他は捕縛し能はざりしも前記十四戸の家屋は石油を注ぎて燒き拂ひたるが該團體は勢益々優勢を示し百名或は五六十名宛の一部隊を組織し他の部落の黨類の捜索に向ひたる由同地一般の土民等は寧ろ此舉を歡迎滿足し居れりと（會寧）

□近江石山螢の獻上

古來有名なる石山螢は本月一日頃より瀨田川の清流に光を落し初め來る十五六日頃を以て出盛りとなるべきが同村にては夙に宮中に對し獻納方伺ひ中の處許可せられたるを以て七日瀨田螢三千七百疋宛を二箱に納め八日宮城並に東宮御所に獻納せり尚ほ螢の大を以て聞ゆる野洲郡守山町にても不日東宮殿下、閑院宮殿下に對し奉り一萬疋づゝ獻納する筈にて目下小學兒童が熱心に捕獲しつゝあり

●列車河中に墜つ 死傷者四十名を出す

十一日列車魚津川を通過の際客車二輛墜落し死傷四十名を出せり（大阪特電）

●逆上して署長を斬る

備後國三原町字西町船乘内原信吉（三）は十一日内縁の妻羽田その（二五）と夫婦喧嘩を爲し逆上の末同地の警察署に亂入し濱田署長の左手を斬り其れより表に飛び出し市民六名を斬り逃走したるも糸崎町にて逮捕さる（大阪特電）

●意恨晴しの監禁 博徒等の處刑

京畿道抱川郡加山面日新梧里趙求元（三）同郡蘇乾面古毛里李鎭學（三）同里推五性（四）加山面加山里李奥夏（四）同里李石根（二七）等は三月十八日より蘇乾面古毛里の山中にて數回の大賭博をなし尚石根求元の兩名は三月二十五日夜趙照龍方にて賭博中突然覆面したる一名の壯漢が入り來り捕繩樣のものを示して兩人を逮捕せんとしたるより兩名は早くも逃走したるが其際石根は現金二十圓求元は十圓を遺失したり然るに件の壯漢は其後に至り同じ博徒の仲間なる李鎭學の知人趙鍾煥なることを突止めたる兩名は烈火の如く憤怒し遂に荒繩を以て鍾煥鎭學の兩名を縛して監禁したる事發覺し此程求元、石根の兩名は懲役八箇月、鎭學は笞九十、奥夏は同六十の處分となりたり

●懲故に毒を盛る

全北錦山郡錦山面上玉里三統八戸居住農金鳳九（二七）は同面中島里日稼鄭基成（二八）の妻果と昨年の夏頃より姦通し居たるが鄭が居ては邪魔になるとて惡意を起し幸ひ鄭が病臥中なるより去月二十三日午前十時頃洗濯用苛性曹達五匁をサパリ半分の水に溶し之れを良藥なりと僞り鄭に飲用させたるが鄭は苦悶の末翌二十四日死亡せしより屍體は附近の醫生の診斷を受け埋葬したる事其筋にて探知し金鳳九を引致の上取調べたるに遂に罪狀を自白したりと

▼御大典活動寫眞▲

□元山壽座にて（十一、十二、十三日）

京城日報、每日申報の現購讀者は各等三割引のみならず同時に二等入場券四枚購入の方には御希望に應じ兩紙の中一つを一箇月間無代進呈

□番外―實寫物―滑稽物―西洋奇術等

主催 京城日報元山支局 每日申報元山支局

●漢江の大砂洲 軍用地として買收さる 農民百餘戸の立退き

龍山鐵橋の下流なる漢江中の大砂洲汝矣島は七十萬坪の大砂原であるが砂丘上の百餘戸の農村は六月末迄に全部立退くことになつて目下過半數は引揚げた大抵は永登浦附近の始興郡管内に移住しつゝある、此の地は軍用地として餘程高價に買收されたものであると

●輕鐵轉覆を企つ

全北全州郡高砂町宋得珠（二七）と云ふ少年は去る五日午後二時頃全州德津驛間の伊東面劍巖里前の線路に小石數個を敷き輕鐵列車の轉覆を企てたるも乘務員に發見され列車は轉覆の危險を免れ宋得珠は其の場にて逮捕され取調の上檢事局に送らる

●贓品を賣て貯金

京城北米倉町雜貨店井町某方店員として大正三年一月より雇れ居れる大分縣宇佐郡津房村生れの遠藤山松（三）は得意先廻り及び注文品の配達に從業中注文品なりと主人を欺きて商品を擔ぎ出して他に賣却し其の都度記帳を誤魔化し或は引き破りて犯跡を晦まし數十回に約二百圓を詐取して貯金し或は消費し居れること此程に至りて發覺し本町署に引致され取調べの上檢事局へ送られたり

●相客から竊取

住所不定自稱金春熙（二二）は六月五日京城貫鐵洞下宿屋金召史方に宿泊し翌早朝午前五時頃出發の際相客なる平壤府里鄭仁淑所有の深護謨靴一足を竊取し永樂町二丁目迄立去りたる所を家人に追蹤されて取押へられ鍾路署に突き出されたり

●骨を盜んで脅迫

全北益山郡益山面大橋里生れ盧成道（二九）は數名の同類と共謀し去る明治四十四年二月二十日夜金堤郡白山面井方里の山中に在る同里居住の柳仁永なる者の亡父の墳墓を發掘し其の傍らに金二百圓を持參せよ然ざれば骨を返すべし然らざれば更に天誅を下すべしと云つた樣な脅迫文を認めたる高札を樹て柳仁永を脅して金百圓を強奪したる外更に金十圓を強奪し其の儘姿を晦まし居たるも惡運盡きてこの程其の筋の手に捕へらる

●廣江氏の野遊會

廣江商會主廣江澤次郎氏は其の經營に係る造船業を東亞煙草會社に讓渡し自身支那に新らしき活動を開始することになつたので多年北の下に在りて奮勵努力し來りたる社員の功勞を稱ひ且つ現東亞會社員と懇親を結ぶため十一日午前十一時より漢江堤で野遊會を催ほしたるが餘興數番あり酒宴の間に歡興を盡し午後四時散會したり

某日某所で「一體今後鐵の相場は上るだらうか下るだらうか」といふ質問が出された▲さうするとこれに對して「下らうと思ひます」といふ力強い斷案が下された で斷案を下したのは勝田鮮銀總裁であつた▲質問を出したのは鐵道の和田參事であつた▲和田君は有力な斷案を得たといつて喜んで居たが鐵道局では鐵の相場の高低は直接豫算に大關係があるので頭を痛めて居つたのだらう▲三浦新瑞西公使を汽車中に訪問してキッチナー元帥の訃を傳へると例の調子で「それは驚いた我輩二日間馬山に泊つたらもう社會から遅れたな」▲更に奇禍の場所を知らせると唯だ默々として頷いて居たが御眞影や國旗を捧持して新使命に赴く身さして北海航行の危險を感じたらしかつた

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

▼一口噺

○讀者「七疋の豹木葉を冠て踊ると書いてある」與太「餘程年經た豹ご見ゑる」（一等）平北義州城内 久住春太郎

▲細君『此頃朝鮮は物價が安くて内地より生活が樂ですネ』主人『うやー最う一本如を仕て呉れ』 龍山 十人公

▲此頃流行した男『朝鮮には虎が居るツて云ふが何處に居るだらう』『知つたふり』『動物園に行くと居るよ』 京城 ローズ

▲近頃重石の貯狀が多い樣だナ』八公『その筈だよ若山師だもの』 龍山 小草

▲十日に櫻井町を通ると美人が胸倉を取ると聞いた男早速飛び出したが取られさうもなく歸り者らしきを見付けて「モシ〳〵黃金館は何處ですか」 京城 うつゝ

謎『初夏の清涼里とかけて』	締切十日	發表十三日
はめる	同十一日	同十四日
狂歌『蚊』	同十二日	同十五日
俗謠『狗』	同十三日	同十六日
川柳『鳥』	同十四日	同十七日
物は付『日陰りになるものは』	同十五日	同十八日
次回一口噺『朝鮮に關して』	同十六日	同十九日

■募集規程 ▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賞は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更ふる事總て一種二句以内の事▲此規程に違はざるものは沒書

子宮病血の道とヒステリーに惱む人は 神仙湯

彼是迷ふこと無く最も能効く良藥神仙湯を試みよ現に百方手を盡しても效なき難症の血の道や、ヒステリーや、數年の多年不治の子宮病の難治の方々が神仙湯の連服で漸次快癒し嬉しき餘りの感謝状（現在保存す一般の閲覧に供す）を送らるゝ實例も少からず若不幸にも是等の病に惱む人あらば其病症と其起因の如何に論なく直ぐ神仙湯を試みよ 神仙湯は家傳の良藥にして、今や全國各藥店にあり

●こんな徴候の人は神仙湯を試みよ

本舖 名古屋市東區京町二丁目 藥劑師 荒川長太郎

父杉江嘉七儀豫ねて病氣中之處療養不相叶昨十日午前十時四十一分死去致候間此段生前知己諸君に謹告候也

追而葬儀は明十三日午後五時若草町曹洞宗本山に於て執行可致候

大正五年六月十一日

男 杉江嘉一
弟 杉江喜一
親族 杉江嘉三郎
杉江嘉左衛門
總代 一鬼房次郎
友人 内山彦一
總代 岩田千春
木谷安吉

直グ治ル 効のある目藥 水 トラホーム其他眼病諸症特効あり 價十五錢三十錢（五錢郵税） 本舖 大阪 東京 丹平商會 各藥店にあり

新刊書御案内

書名	著者	定價
●大增補模範英和辭典	神・外共著	一八〇
●新英和辭典	同	特一〇〇
●實用ペン習字帖	黑柳勲	二〇
●新式圍碁寶典	鈴木爲次郎	六〇
●教育界に表裏	淸水眞主人	八五
●新體二千六百年史	白柳秀湖	特一五〇
●增補二千五百年史	竹越與三郎	二〇〇
●趣味の日本史	新保盤次	二八〇
●理水及砂防工學本論	諸戸北郎	一七〇
●實驗必読法律講義	坂上綱吉	特一七五
●春浪快著集	押川春浪	一三〇
●俳句のちかみち	内藤鳴雪	八〇
●旅とふる郷	若山牧水	五五
●男讀むべからず	丹いね子	七五
●妹の見たるニチエー	圓野泰治郎	七五
●人の裏	吉野蘇堂	八〇
●誰にも作れる野菜畑	今村猛雄	一〇〇
●うた姿	英	一五〇
●優生學	齋藤茂三郎	一二〇
●ショウペンハウエルの研究	矢野晃龍	一八〇
●花摘	夜雨	五〇
●おらが春	俳諧寺一茶	五〇
●第二の女	小山内薰	四〇

京城本町 電話二〇八六 大阪屋號書店

計畫中去月廿七日午後六時頃□家溝の東南溝に狼の巣窟ありたりとの訴へにて出でありしより早速村民を召集し……斃したるに牡一頭槍に突殺され居るを發見したるも親狼は發見し得ず目下其襲來を警戒中（清津通信）

……溺死したり因みに……四尺ありしと

……田甫中に墜落し……時同水田は水深……

……居住竹森新衛外五名の新患者を發見したり目下悲惠病院にて加療中なるが發病の原因は目下不明なりと

……金引替代金等を詐取する爲め文書を僞造し行使して十數回に亙り……

……順成（二七）金壽命（二〇）の兩名は去る七日夜本町二丁目を徘徊し……

……煥（二五）は去る四日松毛虫驅除地狀況調査のため……

……救助せんとしたるも水泳の術を知らざりしため止むなく斷く其筋に屆……

女鳩

渡邊默禪

「二二」やつゝけべえ

『何やす』源作は問返した。やすといふ助動詞を翻譯すれば、すなはち「乎」である。

『殿様が今言はれるとほり、此先十日も山へ入ることが能きないとなると非常に困るんだ。一日や二日ならばどうでもならんことはないが、斯う長い間べん〳〵と待つてゐるといふ譯にもいかんからね』と大野は言ふ。

『ほだけんと仕方があんまい。天狗様がお立ちになんねければ、殺生ができねえんだから』

悠々として茶碗酒に耽溺する様子が、もう有らゆる人生の機といふものを忘れて、壺中の天地に我を沒却したといつたやうな風だ。

『さア、其處を何とか遣繰してくれる譯にはいくまいか。お願なんだがね、爺』嘆願する。

『遣繰つて、節季の錢勘定ぢやあんまいし、ほだなこた出來ねえだな、やい』左樣なことは採用相成らぬとそつけなく剣ねつけた。

『だが天狗様に特別に待遇して貰つて見ても見ぬふりをしてくださいとか、それが能きんければ早く立つて下さいとか、さういふお願をしたら聞届けて下さりさうなもんだがね』

『莫迦こけッ、ほだなこと言つたら太郎坊様に目の玉引拔かれんべなやい。駄目だ』頑として動かぬ。

と、笑ひながら聞いてゐた生駒が『それでは一つコンミッションでいかうかね。天狗だつて慾がない譯がやなからうから、此方の利益を圖つてくれたら祀を立てゝやるとかなんとか言つたら妥協に應じさうなもんだ、天狗を買收したつてまさか、背任罪や瀆職罪になりはしなからうせ。ハツハツハ』と茶々を入れた。けれども源作には何をいふのか些とも分らなかつたので

『あ、社なら有るす、朝日嶽大神ちうて頂上に祠つてあるだ』と頓珍漢な挨拶をしたから、相變らずぴり〳〵と聊つてゐる。

『源作』今度は子爵が入替つた。

『ひい』

『それでは折角お前一人を見込んで、こんな遠方にまで尋ねて來た甲斐がなくなるといふもんぢや。どうしてもお前の援をからんければ成功せんとは思ふがのう。左樣な話であつて見れば傳うかといつて此儘東京へ引返す譯にもいかんぢやで止むを得ず此處に居る者だけで、山に入らんけりやならん。お前に手傳うて貰へんのは誠に殘念ぢやが、これも餘儀ないことぢや。まア〳〵十分に酒など飲んで歸つてくれい』

『ほうかな』源作は氣の毒らしく茶碗を下に措いて『ほだら、どうあつても山さ入るのかす』

『入らん譯にはいかんぢや』

『天狗様の祟を受けさつしやつてもいゝのでがんすか』

『あゝ、是非がないの』

『ほゝ』憮然として下を向いた。

『爺』大野はその傴に質をこむやうに言つた『それではお前、殿様に對して濟まんぢやないか。其程お前を信用してお頼みになるのに、天狗様にばかり義理を立てゝ、些とも殿様の言はれることを聞いてくれない、天狗様の祟はそれで免れるかも知れんが、殿様の罰が當りはしないかね。僕にしてもお前といふ老練な獵師がゐるから、萬事此者へ御相談くださいなんて言つて、態々殿様やお孃様をこんな邊鄙な土地まで引張出して來たのに、お前にそんなことを言はれては、お二人に對する立場がなくなるではないか、昔ならば武士道の上から切腹をしてお詫をせんけりやならん所だ。僕の苦しい心持も汲んでくれて、何とか考へ直してくれないかね、爺』泣々とかき口説いた。

と、源作は少時考へてゐたが、ふいと首をあげて

『よしッ!ほだら一つやッつけべい』命を無いものにしてお伴すべい』

決然として答へた。

『ロツ、むや承諾してくれるか』子爵は大野と顔を見合せて莞爾とした。鳩子もほつとした樣子。

南米倉町朝市場通仁濟病院跡 內科外科 花柳病 入院隨意 上野醫院 電話二九三四番

書画用 絖 絹 京染呉服商 たまや出張店 京城永樂町二 電話一一九六番

公州山城吟社句集

若葉、薫風、夏帽子

杉若葉塔ある奈良の繪巻にや　雨村
桃李若葉して吾狹し　同人
梅若葉引越の荷の括りある　如風
小蒸汽の運河に入るや若葉風　同人
板塀のポプラの杭や若葉せり　不醉
貴賓車の過ぐる驛々風薫る　雨風
薫風や岬遠く相扼す　如村
遺稿編む恩師の室に風薫る　如風
新邸の大玄關や風薫る　雨村
薫風やいますが如き除幕の像　同人
薫風や小我を捨てし嫁姑　不側
薫風や俳上右に見る模範村　同人
さなきだに顔の長さよ夏帽子　友準

新刊紹介

▲採鑛設計　歐洲戰爭は事業界に一大革新を促せると共に鑛業熱の非常なる勃興を來し殊に鮮朝に於て其の甚だしきを見殆多の投資家を出すに至れり從來本邦の鑛界の狀況は少數の資本家にのみ依りしも今や既に氣運は一轉して之に關する智識必要の範圍を擴めせり本書は即ち此の要求に應ずるものにして英國式の完法と獨逸式の學理的理論的にして難解なるとの短所を削除し主として實地經驗の結果に重きを置き編せり就中其の特長とする點は多數の書式實例を記載せるの一事にして其の最も意を用ひたるは漂掃、排水、測量及び通風設備の設計なりとす採鑛冶金學生の好參考書たるは勿論鑛山に於ける技術者の好侶伴たるは言を俟たず好著と言ふべし(一圓七十錢東京市日本橋區本町博文館)

▲公證人法論綱　世人公證人法の著書の下梓を待つ事久し而して今此の著あり著者長谷川平次郎氏は多年其の實務に鞅掌したるの人氏が十有餘年の經驗と幾多の實例と各種の疑問とに對し法理と實際とに鑑み敢て自己の抱負を主張せず努めて實務家實業家其他一般世人の參考書たらん事を期し穩健なる學說及び例例を參酌して且つ公證人法に密接の關係ある他の法令は悉く之を網羅して其の概念を得しめたり本論七章附錄三節而を設け紋に分ち行文平易快暢而して能く要を得たり世人に推奨せずんば非ず(二圓七十錢東京市神田區仲猿樂町巖松堂)

▲法政經濟叢書　政治、經濟、商業等に關し專ら其の概念を普及せんが爲め大家の專門家の贊助を得て三五版二百頁乃至三百頁に編輯せる各科小冊子を稿の成るに隨つて發行するものにして第一編商法總論(法學士…)第二編相續法要論(法學士柳川勝二著)第三編保險法論(法學博士栗津清亮著)第四編民事訴訟法論(法學博士板倉松太郎著)第五編特別民事訴訟論(法學博士松岡義正著)は既に上梓されたり國家の發展に伴ひ國民智識の向上と共に法政經濟に關する智識の普及を圖るは最も必要なる事にして其の急を要する今日より甚しきはなし然れども從來我國此の種の著書多くは學理の研究に重きを置けるの結果從つて大冊となり之を通讀するに少なからざる努力を要するを以て之が智識を求むる者も亦容易に能はざるの有樣なりしが今や此の叢書の發行せらるゝあり要を摘み粹を拔き專ら簡明を旨とし行文亦平明なるを以て何人と雖も容易に能く其の概念を習得し得べし時勢の要求に應ぜるものと謂ふべく價各冊(各冊假綴四十五錢總本六十錢)東京市神田區仲猿樂町巖松堂書店)

▲勞働及び産業(工場法論)　六月一日より施行せらるべかりし工場法に關し諸名士の夫れ方面より觀察せる論說を集錄せり(十八…京府下五日市町一二三共發行所)

齒科專門 大正齒科醫院 京城南米倉町朝市場通り 電話取次七一六番

▲京城の活動寫眞は好いものが少ないので大概見飽いた誰れでもか彼の巌窟王でも持て來て見せる人はないかナア(活動通)▲京城で競馬は一度しかやつた事がない乘馬倶樂部の諸君一番奮發して大競馬をやつては何うです(新伯樂)▲貴紙の京城に欲しいものはの記事は非常に面白い彼れが終つたら又た何にか彼の樣な問題を提供して呉れ給へ敢て賴む(論士の一人)▲當京城は筑前琵琶の大流行地何處に行つてもこの琵琶の音を耳にせない事はない位だが琵琶の盛んな此の地に薩摩琵琶の聲をきく事の殆んど出來ないことを遺憾とす當地に於いて斯界のオーソリチイを紙上にて御敎示のほど願ひます(求師生)▲市內の車賃は矢張高い改正をやつてはどうだらう(給仕)▲之から夕方散歩の時期になるが南山公園から漢陽公園にベンチの少ないのは殘念だ其れから漢陽公園の茶店を最う少し美術的にして貰ひたい(二本筋)▲狹い町で薪を積んだ荷車を停めて通行妨害をやる鮮人多し見當り次第叱咤する權利を吾人に與へて貰ひたい(旭町の住人)▲芝居や活動寫眞がはねて下足を取る時何處でも非常の混雜をするが彼れは最う少し何とか仕樣はありませぬか(定連)

日本一の易成金

大抵概が目に入る立派な門構へ一寸ひねつた二階建易者には不似合な… 横手に嫁で驚く… 共同の金を資本に易店を開いてから今日までやつこ… ▲もとを糺せば淺草馬道のおでん屋、酒屋、易の土の字さへも碌に知らな… ならぬ筈だ矢張りある… 勿論やまが當つたには相違ない然… は設み、除つても跳つても一晩も缺かした事がなく百日間通り通した事… ▲無學文盲でも樂に此種の易者の及ぶ可らざる用意がある仕事も上手だ… 緊性が伍の見立て些か流古たれるが… それさへ見れなかつたら堅なたる易… て居るその風采は釜から出たての… 魚入然として友染縮緬なぞの座蒲團…

てんかん
病で時々手足をヒキツケ 種々の手當も効なく困りの方は切手三錢送れ 永年の病も自宅で人知れず秘密になおす最善の良藥並に之が自療新法の詳細を報ず 名古屋市中區南小川町東側 救生館

夏の胃
夏は誰れも胃が弱り、水アタリ、食アタリ、食傷等の、吐瀉病に罹り、其他の餘病を惹起す恐れあり胃弱者は勿論、無病者も常に胃活を家庭に備へて、日々の持藥とし玉ふ事肝要なり
胃病良藥 胃活

定價 (胃活錠)貳拾、參拾、五拾錢、壹圓 (胃活)廿五錢、參拾五錢、五拾錢
請賣 全國及海外藥店の各藥店にあり
本舗 東京・大阪 山田安民藥房

そばかす にきび ハタケ等の爲め困難の人は 學理實驗共に比類なき理想的良劑に御相談あれ 東京市向島小梅町 …澤藥院

男も女も見落す勿れ
花柳病豫防藥 ラーオ 約廿回分五十錢 小包送料十錢
花柳病豫防藥は官許を受けたる神奈川縣衛生課の改良を加へたる最新の劑にて効能確實使用法簡便なり

●ルーデサック ●變形子宮サック 各種
●價卸小賣共 廉價
ルーデサック類は精製せる完全品にして破損なく彼の粗製劣等品とは全く異なる 御注文に應ず 一個にても販賣す
ドラッグ商會本部 京城南大門外停車場通 電話長二五六七番 振替京城四六七番

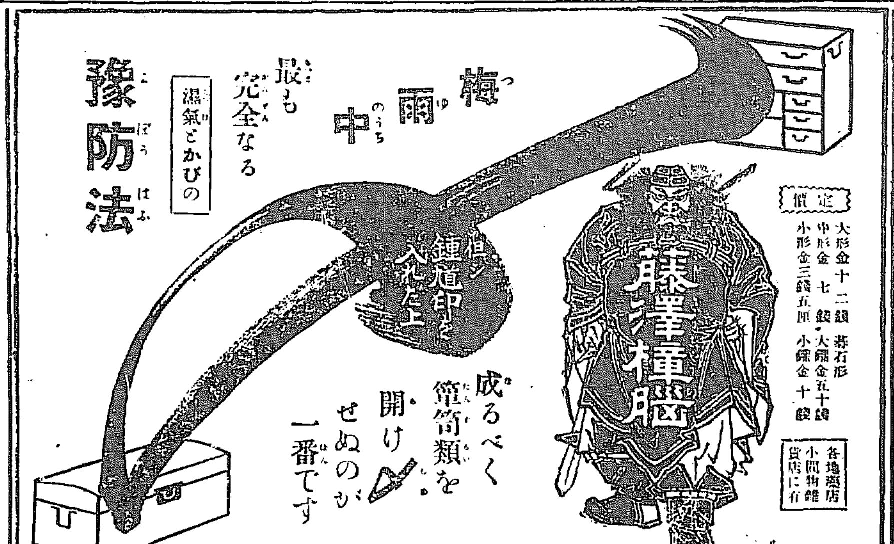
賛化病院 京城本町二丁目 電話二四番
內科 小兒科 入院隨意
醫學博士 古城憲治
醫學士 上野亮藏
毎日五名を限り無料施療す

滋腎 田春丸
陰萎病並に神經衰弱に大効あり
定價 三週間分 金一圓五十錢 …
東京銀座 岸田吟香

勸業債券賣買並に月賦輕便賣 貯蓄
毎月當籤番號掲載 建部月報進呈 壹ケ年豫約は送料十二錢要す
○營業案內、月賦規定、値段表、一覽表、等御申込次第無料進呈
二千圓附六十四回 新債券賣出中
大阪市西區西賀島町五番地 建部債券取扱店 電話土佐堀一六三九番 振替大阪二八〇八番

日韓書房 新版報告
海軍中佐若林欽著 海の趣味 定價一圓二十錢 送料十二錢
教育學術研究會編 支那研究 定價一圓 送料十二錢
巖谷小波著 俳席便覽 俳通 定價一圓五十錢 送料十二錢
長田幹彥著 舞扇 定價九十錢 送料十錢
岡本米藏著 牛 定價一圓 送料十二錢
京城本町二丁目 朝鮮 電話四一五・二二七 振替口座…

內科 小兒科 芙蓉醫院
京城本町二丁目(瓦斯會社向側)
醫學士 森 定吉
電話二六二三番

梅雨中
濕氣とかびの最も完全なる豫防法
成るべく簞笥類を開けぬのが一番です
但シ鍾馗印を入れた上

藤澤樟腦
定價 大形金十二錢 壽石形 中形金七錢・大函金五十錢 小形金三錢五厘 小函金十錢
各地藥店小間物雜貨店に有

★
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
株式會社 百三十銀行京城支店 京城本町壹丁目
電話長五八番・一九四番 振替貯金京城一一三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

質 京城黄金町二丁目(永樂町居留所北入) 堀佐質業所 (電話六三九番)

最上醬油 朝鮮仁川濱 高杉醬油釀造場

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○大正丸 月 日後四時出帆
○大有丸 六月十四日後四時出帆
○神代丸 六月十九日後四時出帆
○秀吉丸 六月廿八日後四時出帆
仁川海岸通一丁目 電話五十九番 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆
外航路(臨時航路を除く)船の出帆時刻は五分前を以て締切り…
群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
○天智丸 六月十三日 後二時出
×天智丸 六月廿五日
×安東丸 六月十八日 後五時出
木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
×大智丸 六月 日
○大洲丸 六月十六日 後二時出
木浦、釜山、巖原、鄉の浦、長崎行
×信濃川丸 六月十六日
×信濃川丸 七月四日 後二時出
鎮南浦、大連行
○信濃川丸 六月十二日
×信濃川丸 六月廿九日 後二時出
大連直行
○潮州丸 六月 日
△福州丸 六月十七日 正午出帆
群山、釜山、橫濱行
○潮州丸 六月十四日
△福州丸 六月廿三日 後二時出
南浦、木浦、神戶、大阪行
×大智丸 六月廿一日 後二時出
群山、神戶、大阪行
○宮島丸 六月二十日 後五時出
清津、浦潮行(元山出帆) 印八城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港
○須磨丸 六月廿八日
△安平丸 六月十四日 後二時出
上海、基隆、打狗行(大連出帆)
○基隆丸 六月十七日
△城津丸 六月廿八日 後四時出
御注意 ○朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候 ○御乘船客は本船出帆前約一時間前御乘船被下度 ○×印は一等客御斷り△印は二等客御斷り
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番・二二二番・五〇番 京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八番
▲中國四國沿岸各港行船客に對し當分門司迄の割引を以て聯絡乘船切符發賣仕候

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五二番・二一三一番 鐵道會社及社外船と荷客連帶輸送の便あり詳細は各支店出張所代理店荷客取扱店に御照會被下度候 京城南大門驛前 京城荷客取扱店 松原運送店(電話長二七〇番)
門司より釜山各港寄港連絡航路
○全羅丸 六月廿一日
○京畿丸 六月廿一日
○黄海丸 六月廿五日
○成鏡丸 六月十五日 釜山發
元山より各港經由雄基行
○穩城丸 六月十二日
○昌平丸 六月 日
○鏡城丸 六月十六日 元山發
城津清津經由露領浦潮、元山より門司又は長崎行
○忠清丸 六月十九日
○平壤丸 六月十二日 元山發
○永興丸 北久…五里浦行 毎月廿八回 元山發
○盈德丸 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行 六月十三日 釜山發
○江陵丸 ○襄陽丸 每日 浦項 釜山發
○三浦丸 長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港 六月十二日 釜山發
○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶尚丸 每日 釜山發
○順天丸 各港經由麗水行、麗水より釜山行に接續 (三日目一回木浦行) 三日目每ニ 木浦發
○公州丸 各港經由濟州島行西廻 六月 日 木浦發
○公州丸 南多島海經由濟州島行(月三回) 六月十五日 木浦發
○慶興丸 各港經由濟州島行東廻 六月十四日 木浦發
○京信丸 海州各港經由鎮南浦德洞又は白翎島行 六月 日 仁川發
○江原丸 青山、大浦、芝余行 六月十六日 仁川發
○麗水丸 ○晋州丸 各港經由木浦行 六月 日 六月十五日 仁川發
○錦江丸 ○南陽丸 群山、江景… 每日午前 仁川發
○平安丸 往航 大黑山、木浦、門司、若松行 復航 門司、木浦、群山行 六月十九日 六月十二日 群山發 若松發

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行(關東都督府命令航路) 第十三共同丸 六月十四日後三時入 第十一共同丸 六月十六日前九時出
朝鮮鐵道並南滿洲鐵道旅客手荷物の連帶取扱仕候 大連にては靑島行定期船と連絡乘船取扱可仕候
○城津、淸津、浦鹽行(元山出帆) 第一阪鶴丸 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸(元山出帆) 月 日前八時出
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 本町一丁目 電話一〇八番 山下回漕部
元山代理店 (電話二四四番) 田口回漕部
京城取次店 南大門(電話二六八・二〇二七) 河村運送店

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行 立神丸 六月廿七日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行 立神丸 六月十五日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行 小倉丸 六月二十日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 六月廿九日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三共榮丸 六月三十日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三共榮丸 六月十九日後六時出帆
住須奈、嚴原、壹岐、博多行 天神丸 毎月二、九、十四、廿一、廿六日午後十時出帆
本社 釜山港埋立新町 朝鮮取扱店 大池回漕部

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
相模丸 七月五日 正午出帆
高砂丸 六月十二日 正午出帆
三河丸 六月廿四日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十二番 堀回漕部